

特31

762

通鑑  
日本外史講義  
七

獨在 日本外史講義卷之十八

伊豫松山 近藤南州

德川氏正記

德川氏

正記

德川氏ノ正記トシ。德川氏ノ記ニ移レリ。而シテ其記事最モ長ク。五テ跨リシ故ヘ。數テ以テ其次第ヲ序シ。是レガ其第一篇ニ當レルナリ。

○我ノ祖ヲ觀ルニ。八世商也。貞純親王、經基、滿仲、賴信、賴義、純親王。四品ニ

叙シ。兵部卿ニ任テ。桃園親王ト稱ス。其子經基。○立孫義家。信ノ子滿仲。滿仲ノ子賴信。賴

世三六孫王ト稱テ。上總介鎮守府將軍ニ任ズ。○玄孫義家。信ノ子賴義。賴義ノ子義家。即チ

八幡太。○義家子。第三子。○義國居上野。義國式部太輔ニ任テ。右大臣藤原實能ノ兩海

關ニ。○新田記。足利。上野。○諸邑。新田足利ハ。郡ノ名ニシテ。邑ノ名ニ非ズ。諸邑

聞コニ。サレド其實ハ二郡ヲ全有セ。○宗子。人ト云フ義。○王命。天子ノ命令ヲ謂フ。サレド

ニシテ。後ナニハ。法皇ノ命ナリ。眞天子ハ。平氏ノ擁護セシ故ヘ。平氏ヲ討スルノ命ヲ發スル筈

ナシ。賴朝ヲ以テ。王命ヲ奉シ。平氏ヲ討ツト爲スハ。總テ後人ノ成敗ヲ以テ。古ヘテ論ズルト云

フ者ナリ。當時若シ宗盛早ク死シ。知盛教經ノ徒。安徳帝ヲ奉シ。軍政ヲ更張シ。範賴義經ヲ破リ。京師ヲ恢復シ。賴朝ヲ平ラケ。天下チ一新セバ。賴朝ハ賊名ヲ負ヒシナラン。故ニ安徳帝ノ未ダ崩



セラレザル前ニ當リ。己ニ後鳥羽帝紀ニ入ル如キハ。余  
ガ最モ山陽翁ノ論ニ服セザル所ナリ。今之レチ一言ス。○開府關東一鐵倉ニ開ク。○寺

尾城野上 ○義季 四郎ト稱ス。是レノチ ○徳川邑 野上 ○生頼氏 第二子ナリ。彌二郎ト稱  
ニ作ル。○世良田 野上 ○教氏 氏ノ第二子。○家持 又二郎ト稱ス。新田、江田、田中、世

家時ニ作ル。恐 ○滿義 孫二郎ト稱ス。一説ニハ。教 ○政義 小字ハ太郎。右京亮ト稱  
ハ誤寫ナラン。○稻村崎 鎌倉ノ南口海邊ニ在リ。野史ニ三松傳チ引 ○播遷南

季 小字ハ太郎。修理亮ト ○稻村崎 鎌倉ノ南口海邊ニ在リ。野史ニ三松傳チ引 ○播遷南  
稱シ。徳川氏ニ復ス。○宗黨 類ナリ。○眷 目チカケテ。カ ○恢復 王政チ再

山 吉野山ニ遷幸セラル。チ謂 ○宗黨 類ナリ。○眷 目チカケテ。カ ○恢復 王政チ再  
一フ播ハ越ナリ。遷越ノ義。○有親 郎太郎。○右京亮 野史ニ左京 ○元

○蓋殉之矣 蓋ハ疑フ辭ナリ。野史ニ。新田系圖。三家考。並合記チ引キ云フ。永享七年、  
其徒ト力闘シ。勢盡キテ自殺スト。又タ逸史ニ據ルニ。親季、上杉氏志ニ黨シ。足利持氏ニ叛

キ。氏志誅セラレ。親季其子有親、孫親氏ト。藤澤清淨光寺ニ投シ。權リニ僧ト爲リ。相訣シ逃ルト  
アリ。祭名録ニハ。親季ハ正長二年十月二日卒ストアリ。右ノ諸書ニ據レバ。政義ハ勤王ノ

爲メニ死シタル也。子ノ親季ハ。足利氏ノ賊臣ニ黨シタル者ニテ。忠死ナドセシ人ニ非ス。○開  
府京師 室町 ○氏滿 基氏ノ子。足利 ○有親 郎太郎。○右京亮 野史ニ左京 ○元

中 後龜山帝 ○爲氏滿 所覺云云 野史ニ一本諸書チ引キ。有親、足利持氏チ助ケ。將軍義  
ノ年號。○爲氏滿 所覺云云 野史ニ一本諸書チ引キ。有親、足利持氏チ助ケ。將軍義

ニハ。持氏法子置ク殿殿。新田氏舊怨アルノ故ヘチ以テ。有親父子。上野奮邑チ保ツチ得ズ。潛カ  
ニ相模ニ遁レ。藤澤寺ニ入ルトアリ。前ノ逸史諸書ト合ス。從フ可キニ似タリ。本書ハ氏滿ノ時ト

爲ス。亦タ一説ナリ。未ダ ○入陸奥起兵 一説ニハ。陸奥ノ鹽釜ニ匿レ居リ。應永二年ニ。小  
是ナルヤ否ヤチ知ラズ。○入陸奥起兵 山若犬丸ガ。新田義隆等チ擁シ。兵チ陸奥ニ起セ

シニ應ズル ○挈 提携ノ義。引 ○舊識 ミチ云フ。○上杉氏 能憲ナリ ○募索 懸賞シ  
ト爲セリ。○手刃 手打ナニ

云フ。○手刃 手打ナニ ○二子 親氏。○僧尊觀 遊行上人ト稱ス。○變容貌 出家  
タニ。身形リ ○周游 アマチク。遊 ○先朝 後醍醐天皇チ指ス。○保護 敵ニ殺サレヌ様。カユ

徒弟狀 弟子坊主ノス ○徳阿彌 是レ藤澤山宇賀神緣起ニ據リシナリ。徳川記實錄等ニハ。  
ガタニスル。○徳阿彌 父チ長阿彌陀佛トシ。子チ徳阿彌陀佛トシ。是レト相反

セリ。○徳壽 神緣記ニハ。獨阿松壽丸ニ作レリ。サテ此ノ三人ノ事ハ。諸書異説紛々トモ。泰  
ヤ。○大濱村寺 稱名 ○尙 スキコノム意。○連歌 一句チ成セシ者アルト。之レニ別人

愛宕山ニテ成セ ○諸豪 多クノ金 ○松平酒井 俱コ三河 ○両村長 二ヶ村ノ庄屋ナリ。  
シ者。是レナリ。持チ共。○松平酒井 俱コ三河 ○両村長 二ヶ村ノ庄屋ナリ。

門信重 ○書手 書キ役 ○周旋執事 立チマツリシテ。諸事務  
酒井雅樂助。○書手 書キ役 ○周旋執事 立チマツリシテ。諸事務

義。○容止 モヤウ。○凡種 凡人ノ ○微叩 ヒタツメル義。○無他 足利方ニ密告

獨傳日本外史

二

氣使ヒノ無 ○以故 新田ノ系統ナル ○養 男ノ女家ニ附クテ。養婦ト謂フ。俗ニ云フ。ムニ  
キチ云フ。 ○養 養子ナリ。買誼傳ニ。家養子壯出養。師古曰ク。

養婦ハ當ニ出テ、妻ノ家ニ在ルベカラザル。猶チ人身ノ耽 ○蓄髮 遠俗スルヲ。 ○親氏  
養アルガコトキチ言フナリト。養ハ痴ナリ。ユフト訓ス。

小字ハ次 ○稱雅樂助 即チ酒井家ノ養子ト爲リタルナリ。武家譜ナドニハ、親氏ガ松平家ニ  
郎三郎。 ○稱雅樂助 養子ト爲リ。其長子ノ廣親ガ、酒井氏ヲ嗣ギシト爲セリ。未ダ是ナル

ヤ否ヤチ ○泰親襲稱之 泰親、小字ハ千熊。又次郎三郎ト稱ス。是ニ至リ。松平家ヲ嗣ギ。  
知ラズ。 ○泰親襲稱之 太左衛門ト稱セシナリ。一本譜畧、徳川記、大三川志、實録、逸史

野史等ニハ、泰親ハ親氏ノ子ト爲ス。松平系圖、御先祖記、徳川歴代大樹寺  
過去帳、並牌主、鹽尻、異本系圖、武家譜等ニハ、親氏ノ弟ト爲ス。本書ト同シ。 ○關棧 聚木

ト曰フ。養ハ草ハラナリ。即チ木ヲ斬  
リ。草ヲ除キ。荒蕪ノ地ヲ開墾スルヲ。 ○達道路 行ノ便ヲ爲ス。通 ○振貸 錢數等チ。ホ

アマエル ○不責償 ハンサイチ。 ○鄰近親附 津、竹谷、形原、大給、御油、深溝、野見、岡崎  
チ云フ。 ○不責償 ハンサイチ。 ○鄰近親附 津、竹谷、形原、大給、御油、深溝、野見、岡崎

等ノ數邑。皆十歸附セリト云フ。逸史ニ  
ハ。以上ノ諸件ヲ以テ、親氏ノ事ト爲ス。 ○仇敵 足利氏 ○迫蹙 ニモ居レヌコト、ナリシ

チ云フ。 ○流寓 他郷ニ寄留スル義。 ○稍得安處 少シク落付キ居 ○先業 新田氏祖  
先ノ舊業。

○不死生以之 カザラフヤトノ意。 ○糾合ハセマ ○中山七邑 中山郷ノ七ヶ村。  
ト云フ。 ○歲入 貢租米。 ○大納言平實照 野史ニ。一本譜畧、徳川記、並合記等チ引キ。權大納

言藤原實照ニ作ル。注ニ云フ。逸史ニ平實照ニ作ル

ハ誤ル ○善視之 丁寧ニ取リア ○憚足利氏 新田氏系統ノ者ハ。足利ノ敵ナ  
矣ト。 ○善視之 丁寧ニ取リア ○憚足利氏 新田氏系統ノ者ハ。足利ノ敵ナ

代ノ國司ノ在京シテ。任地ヘ行カザル者 ○六男 信廣、信光、益親、  
信廣、門ト稱ス。 ○次

郎三郎 初メ竹若丸ト  
稱セシト云フ。 ○岩津、岡崎、大給、北給、安祥、三河、 ○寛正 後花園帝

田河。 ○蕃衍 シゲリハ ○竹千代 又次郎三郎ト稱ス。 ○勵精 精神ヲ奮  
勵スル義。 ○先考 信光チ

父死スルヲ。 ○多 多シクマサ ○混忠邪 忠臣ト。姦邪トチ。 ○濫賜予 賞ス可カラザル者  
考ト稱ス。 ○混忠邪 忠臣ト。姦邪トチ。 ○濫賜予 賞ス可カラザル者

ヲ謂フ。 ○明應 後土御門  
帝ノ年號。 ○學母 城主中條  
出雲守。 ○寺部 城主鈴木

八草 城主那須 ○伊保 城主三宅加賀守。以上 ○合兵 三千人ナ  
作。 ○伊田、鳴田、三河。 ○大樹寺 世ニ或ハ漢ノ馮異ノ故事ニ据リ。以テ後

戰ニ。打死ニセ ○親長 岩津太郎 ○乘元 加賀守。大給 ○親房 支蕃  
シ者チ云フ。 ○親長 岩津太郎 ○乘元 加賀守。大給 ○親房 支蕃

主 ○親光 刑部丞。福益 ○長家 左馬 ○長忠 右京 ○乘清 加賀右衛門。瀧  
リ。 ○親光 刑部丞。福益 ○長家 左馬 ○長忠 右京 ○乘清 加賀右衛門。瀧

爲嗣 第三子ガ相續シマ。小字ハ竹千  
代。又次郎三郎ト稱スト云フ。 ○永正 後栢原帝 ○率大兵 駿河、遠江、伊豆、相模、

爲嗣 第三子ガ相續シマ。小字ハ竹千  
代。又次郎三郎ト稱スト云フ。 ○永正 後栢原帝 ○率大兵 駿河、遠江、伊豆、相模、

○所深愧 報酬チセズシテ。ハダラカセルバ。○餘瀝 シツク云フ。○不暇 鶻

各人一キチ。サスヒマガナイ。○交就飲之 飲シテノ意。○感奮 君恩ノ厚キ

ガリテ。○矢矧河 參。○宇都宮 三郎右衛門。德川記。逸史等ニハ。宮ノ字無シ。逸史補外

著姓タリ。先世既ニ遊チ時ニ當リ。○西岸 矢矧河ノ西。○田原 河。○負籠

云 逸史ニハ。長氏輕我。在途酣飲。不設備。且侍。醒而歸。士心不降。ニ

親盛 三郎次郎ト稱ス。○信定 内膳正。櫻井。○利長 彦四郎。藤井。○義春 右京亮。東條

役ニ戰。○信忠爲嗣 長子ガ相繼シタ。小字ハ竹千。○不恤政 政事ニ注

ノ家。○謀廢立 信忠チ廢シテ。別ニ明君。○一人 首謀者ナ

亂針筒ノ戰ニ死ス。○吾非 國政ヲ謬リ。○不可追也 トリカヘシガ出

ルチ云フ。字典ニ。博局ハ周限ノ用ニ可。○大永 後栢原帝。○大濱 河。○清康立 竹千代。

又次郎三郎。○聰達 サドクシテ。事理ニ善。○憑膝持鬢 人ノヒザニ。依リカハリ。又ハ

ナレシタシ。○受調 謁見チ

等耳 人ノ天地間ニ生ルハ。尊卑ノ

○霽醉 十分ニ

○親貞 寫本逸史ノ首書ニ云フ。彈正左衛門親貞。其譜第チ詳カニセズ。系表ノ載スル所チ按ズ

前名チ改ムルノミ。又按ズルニ。藩翰譜直ニ昌安ニ作ル。從フ可シト。以上皆十逸史首書ノ説ナ

光重 岡崎ニ居リ。以テ昌安ニ至ルトアリ。親忠ハ清康ノ曾祖父ニシテ。四十餘人ノ兄弟アリシ人

ナリ。サレバ昌安ハ。親忠ノ光重ノ弟子カ孫カニ當ル人ニシテ。清康ニハ遠親ニシ。從祖叔父ニモ

アラザル知。○山中 河。○傍近 リノ土地。○要地 要害ノ

來親忠。長親。信忠マデ。四世ノ間。之レニ居リシガ。○市租 市中ノ商

シキチ。○以君命 我ガモヲ受ケタルモノナレドモ。○商旅 商賈人旅

ミサカエテ。財產。○亨祿 後奈良帝

ガ十分出來ル。○吉田 參河。今

獨學日本外史傳義 卷之十一

四

名ハ成命。逸史野史

諸書野ノ字無シ。

○伊奈河三 ○本多郷 日高郡ニ在リ。是レヨリ ○子孫 助秀ノ子助定。足利尊氏ニ屬シ。尾張ノ國粟飯原郷ノ地頭職ニ補

リ。○徒參河 助定ノ玄孫定助。參河ニ移居ス。○舉族 一族悉皆ノ義。本多忠勝。本多正信。本多忠次。皆ノ同族ナリ。○正忠允

大 正忠ハ定助ノ曾孫ニシテ。忠次ノ祖父ナリ。本多ノ一族多ク仕官セシモ。○御油吉田川 初メ

俱ニ 三河。○毀舟 必死ノ意ヲ表スルナリ。○叔父信定 三男。○叛將戸田憲光 憲光

田原ヲ以テ叛ス。是ニ至 ○盤殺 盤ハ物ヲ盛ル器。或ハ木。或ハ錫銅ニテ之レヲ作ル。○籍カ

リ之レヲ攻メ下ダス。○葵三葉 三枚ナリ。○徽號 紋所。○因宗族 新田ノ宗族ナルニ因リ。行

文禮當チ欠クニ似 ナノシメシ。○三葵 ノ紋ナリ。○品野 尾張。○宇理 河三。○從子 姪ナリ。○岩瀬 莊兵衛。○城中

宇理 城。○高力河三 ○高力氏 重長ハ即チ河内守清長ノ父ナリ。○天文 後奈良帝ノ年號。○廣瀨 寺部 俱ニ

○二城主 廣瀨ノ城主三宅左衛門尉。寺部ノ城主鈴木重則。○有文在其握 文字ガ其握リシ手ノ

云フ一字ガ ○其解 其解釋。○是字日下人也 拆字ノ法トテ。字畫ヲツツテ判斷スルナリ。日下人ノ二字ト

ナリ。○握而未啓 手ノヒラニ握リテ。未ダ之レヲ開ラカザルヲ云フ。○龍海 龍ノ海

禪寺 河三 ○族望相敵 門族名望。相匹敵シテ。別ニ彼レヨリ ○剪滅 剪キホロ

アトチ晦マセ。身 ○仇家 仇カタキノ家。即チ足利氏ノ家。○可知 知レテアルト云フ義。亂世

合 ハス義。○樹職皇都 德川氏ノハマチチ京師。○雪 雪ノ義。○東河 今川氏

○西尾 織田氏 秀信 ○西上之路 京都ヘ攻メ上ル道路ナリ。○厲兵 刀劍ナドヲ

チ用意スル義。爾雅釋詁 ○奮躍 小オドリ。○森山 尾張。○上野 河三。○落合某 喜兵衛

因事抗之 抗ハハリ合ヒ敵スル意。初メ清康群臣ニ戒メ散樂ス。喜兵衛先ツ至リ。誤ツテ信定

トス。再ヒ之ヲ促カス。喜兵衛怒リ曰ク。我レ去ラザルニ非ズ。何ツ督責ノ急ナル。我が君

上ニ在リ。群僚座ニ滿ツ。我が頸斷ツ可シ矣。席ハ獲可カラザルナリト。堅坐シ動カズ。○傲

輕蔑ス ○屈撓 ハカマリ。○銜之 怨ミテ。根 ○親次之死 宇理ノ城攻メノ時。戰死セシナリ。○諺

責 辭ヲ以テ相責ムルヲ謂フ。一旦ノ急。胡越相拯フ。今至親死地 ○慚恚 ハガイカ

次死樂。信定生 ○介意 心ニカケル義。○大舉徒歸 大軍ヲ擧ゲテ。國境ヲ出テ。寸功 ○納ニ侮

四鄰 四隣ノ國ヨリ。輕 ○清洲 尾張。○國老 ロウニカ。○勗信定 信定ノ異志アルヲ知り。之レヲ戒シメ。謹慎ニ勉

○流言ヲヒフ ○通謀 敵々書ヲ贈ルヲ見テ。謀ヲ通シテ。互ヒニ反チ爲サ。○彌

七 正置 ○造作語言 シク。ツクリ言ヒテ。アルヲ ○即不察見誅 トチ。明察セラレズ

シテ。我ノヲ疑ヒ。誅 ○侯時鳴冤 ナリシコトチ。鳴ラシ立ツル義 ○馬逸 ナレタ。○

大 駿 軍人トモガオホサハギシタ。逸史ニハ。是句ノ下ニ。公起視之ノ四字アリ。下句ノ侍ニ公

ニテ。天文十三年ニ。年九十二ニシテ卒シタリ。 ○護喪 死體ヲ保 護スル義。 ○請命 萬事其サシツ

新六ト稱ス。後出羽守ト曰フ。榮安ヲ浮屠ノ法證ナリト云フ。説ハ妄ナリ。逸史首書。詳カニ之ヲ辨ズ。 ○出雲守 長親。清康ノ 猶在 孫ノ相

世ナレドモ。マダ存生ナリシ。長親ハ長壽ノ人。 ○護喪 死體ヲ保 護スル義。 ○請命 萬事其サシツ

○青木氏 青木貞景 小字ハ千松丸。又々仙千 立之 時ニ廣忠年 甫十歳。 ○傳

役ナリ。 ○季父 サナリ。 ○康孝 信忠ノ 三男。 ○伊田河三 自立 自分ガ勝手ニ立ツテ。一

見シ。 ○奔伊勢 神戶ニ寓シ。又々山田ニ往キ。 ○上野 三河。信定ノ居 今川氏 是時

卒シ。其弟義 ○牟呂河三 危疑 衆心ノ附セザルヲ知リ。戰フ ○宣言 表テ向キ言 ヒテラセル。 ○姪

孫 信忠ノ 孫。 ○與將士誓 己レニ負カズト誓 密告 四月ニ廣忠ヲ迎フルノ策。 ○信孝

信忠ノ 次子。 ○未得間耳 信定ノ用心ガ嚴ナル故。 ○且全身焉 残リ。諸君ノアト繼ギノ

爲メニ。萬一ニ備フル ○有馬 攝津ニ在リ。温泉ヲ以テ天下ニ名アリ。 ○因以侵我 川

氏ガ。廣忠ヲ納ル。チ名義トシテ。 ○嫡曾孫 嫡子ノ系統ナルヒマニ云フ。是レハ正論ナリ。

不意ニ岡崎ニ攻メ入ルヲ云フ。 ○折節事之 無キ人ナリ。古來人皆ナ。徳川氏ニ畏怖シテ。之レヲ職スル能ハザリシノミ。

我設ククシキテ。廣 ○信孝亦歸 有馬ニ行クト云ヒ。京師ニ留リ。報チ ○父氏次 諸書ニ

忠次ノ父ノ名ハ未ダ詳カナラズト言ヘリ。 ○參河守妹 清康庶生二男一女アリ。一ハ僧ト爲

ハ名ハ信康。年十八ニシテ。安祥ニ戰 ○逆家 其子彌七ガ。清康ヲ弑セシヲ以テ。 ○有身

死ス。女ハ酒井忠次ノ妻ト爲リタリ。 ○安倍氏胤 定吉ノハラマセシ子ハ。 ○織田氏 信秀

子チハラ ○井上氏 名詳カ ナラズ。 ○安倍氏胤 定吉ノハラマセシ子ハ。 ○織田氏 信秀

川谷河三 ○奇質 非凡ナ 舉之 酒井雅樂助正親。胞刀ヲ操リ。石川 ○因故事 六世

親忠以下廣忠ニ至ルマデ。累世皆十幼字 ○大原 義元ノ庶 小豆坂河三 ○又來侵 上野

ヲ竹千代ト稱スルヲ以テ故例ト爲ス。 ○大原 義元ノ庶 小豆坂河三 ○又來侵 上野

親忠以下廣忠ニ至ルマデ。累世皆十幼字 ○大原 義元ノ庶 小豆坂河三 ○又來侵 上野

ヲ竹千代ト稱スルヲ以テ故例ト爲ス。 ○大原 義元ノ庶 小豆坂河三 ○又來侵 上野

親忠以下廣忠ニ至ルマデ。累世皆十幼字 ○大原 義元ノ庶 小豆坂河三 ○又來侵 上野

ヲ竹千代ト稱スルヲ以テ故例ト爲ス。 ○大原 義元ノ庶 小豆坂河三 ○又來侵 上野

○信元叛云云 信元ハ、服忠ノ夫人ノ兄ニ當ル。河屋緒川ノ二城ニ據リ、今川義元ニ背

リシ。○信元叛云云 キ、織田氏ニ附キタルナリ。本書ニ據レバ、松平氏ニ叛キシ機ニ聞ユ。且

ツ叛ノ字ハ臣ノ君ニ叛スル時ニ書ク字ナリ。カレバ字義チ ○難ノ世話ニナリシヲ以テ、其敵

國ト縁組ニスルハ、至極難 ○絶婚 夫人チ離縁 ○憲光 成積ニ康光ニ作ル。 ○佐崎上

輪田 俱ニ三河ノ地。信秀新タニ上輪田ニ城 ○清原 三河ノ野史ニ清原ニ作ル。 ○馬表

旗其忠 其忠節ヲ、萬衆ニア ○不遂 讒言ガ成就セ ○酒ニ醉ヒ氣ノ ○寝ナリ。

○爲逆 主殺シヲ爲 ○不成 賦シオホセズ、股チ ○橋上 城門外ノ壕 ○相搏 組ミウ

ナリ。 ○墮壕 水ノ無キカラボリノ中 ○縦之 八彌ト組ミタル手チ。 ○逸 ストリニガ

併我刺之 我カ身ト俱ニ刺シ殺セト言ヒシナリ。身ヲ棄テ、賊 ○猶豫 マサカ賊ノ爲メニ、

コトモ出来ズ、見合 ○櫻井河 ○横肆 ナル義。 ○并其邑 其領邑チ、我カ所有 ○生

一信定 其事横チ以テ、信 ○收其邑 上ケルチ云フ。 ○信定至 變チ聞ヒテ、馳セ

詰 何故ニ信季ノ邑チ。收メズ ○復叛應之 上野チ以テ、復タ叛シ ○亘邑 河三 ○共

匿于亘 忠景ノ先、熊野ノ別當島居行忠。惡獄チ以テ、參河ニ奔リ、亘村ニ住シ。 ○栗生某

新右 ○刺客 敵中ニ忍ヒ入リテ、人チ刺 ○信廣 信秀ノ子ニシテ。 ○岩ナリ。 ○徴

質子 一セト言ヒシナリ。 ○五十餘人 賭書二十八 ○外舅 廣光ノ後妻ノ父ニシテ。シウトニ

ト爲スト。是レナリ。サレト是レハ竹千代ヨリ文意チ ○憲光 烈祖成積ニハ、憲光ノ子甚五郎

接スルトスレバ、外祖ニ作ラザルチ得ザルニ似タリ。 ○暴漲 ミナギリタリ。 ○由海

○以好迎 深切アリシ ○觀潮坂 遠 ○田原河三 ○部卒 組下 ○奇貨 モノトシ

テ、人ニ賣リ渡スチ云フ。呂不 ○多大川 大井川、天龍 ○暴漲 ミナギリタリ。 ○由海

章ノ言ヒシ語。史記ニ見ニ。 ○轉舵 東ニ向ク可キチ。カギチ ○熱田 尾 ○猶幼 時年十一ナ

路 一テ廻ハル機 ○混敵兵 敵兵ニマギ ○白所見 別ニ書狀チ書クコトモ出来チ

○覺變 異變アリト ○大官司 熱田社ノ神官 ○貴息 御子息ト ○背東郷西 東、駿河ニソムキチ。

云。 ○非貴息利 從ガハチバ、御子息チ殺ス ○失信鄰國 已ニ鄰國ト盟約チ結ビタ

ガハ。 ○天王坊 尾張名古屋ノ萬松寺ノ天王坊ナリ。 ○備其艱苦 種々ノナン ○生母

○生母 種々ノナン ○生母





泣ガスチ云フ。○福釜河。○八將。忠次。及大久保忠勝。渡邊義綱。範正重。杉浦。○幾得。

勝家。阿部忠政。勝家ヲ射テ。之ヲ傷ク。其兵來リ救ヒ。之ヲ扶ケ馬ニ。○十六。十五ノ誤。

十一年壬寅。家康生ル。今歲弘治二。○幼離國。六歳ニシテ。出。○流寓。處カダメス。流寓。

○拜掃。參詣チシテ。○山田某。新左衛門。○内城。本丸。○外城。ソトク。○延見。出シ。

テ面會。○離次。ナミ居タル席次。○効驅馳。カケマハツテ。忠。○時糧食。兵糧チダ。

○以此。糧食ヲ以テ。○揚武四方。武威チ。四方ニア。○餘年。已ニ此世ノ事務チ終ヘテ。

目義。○嗚咽。ナキイツテ。○元康。元ハ義元ノ偏名チ取リシナリシガ。是ニ至ツテ亦タ。

ニ。改名ノ事ハ。三年駿河ニ往キシ後ニ載ス。注ニ云フ。創業記ニ二年ニ係ルハ誤ル。徳川歴代記。

ニ。嗣君岡崎ニ還リ。古老ノ清康ノ智勇兼備チ話スルチ聞キ。之ヲ慕ヒ。名チ元康ト改ムトア。

リ。是レモ三年。○永祿。正親町帝。○重次。重信ノ子。作左。○一子。重次ノ次男。○二弟。

九藏重玄ナリ。諸書皆十一弟ヲ載セ。○走重教。成續ニハ。力屈シ出。○廣瀬。三河。城將。

○斯已多矣。ソレゾ己ニ十分ノテ。○全勝。カチニキツナツケヌ意。是時舉母丹下中島。

云。○養威。威勢チ養。○品野河。○獲五十餘人。隊將竹村孫七郎。磯田金平。戸崎平九。

○賞。武田記ニ。○小主人。幼少ナ。○如約。上文ツ竹千代猶幼。我當下續領ニ國務。俟ニ其。

ナリ。○關口氏。即ノ嗣。○鷺津丸根。大高。皆掛。尾張。○皆降。山口左馬助中村城チ。

鳴海城チ守ル。左馬助大高皆掛。○難之。ト思フナリ。○護運。運送ノ兵糧。○信吉。逸。

ニ信元。○勝吉。逸史ニ鎖。○候視。敵ノ様子チ。ウ。○不欲戰也。我レト合戦ス。

兵。酒井正親。石川數正。○邑里。在所。○池鯉鮒河。○乘機。ホトヨキヨロ合。○拔鷺。

津。城將飯尾定。○當敵衝。敵ノツキ來ル。○桶峽。尾張ノ地。鳴海池。○間道。山中ノ。

○審其實。義元ノ打ダレシ事實チ。○班。還ナ。○謬傳。ヒ傳ヘシ事。○信元。嗣君。

ノ兄。○私使來告。信元、織田氏ニ屬ス。故ニ内々來リ知ラセタルナリ。蓋シ親戚。

ハ、カチ云フ。○偵。ウカヒ。○失道。道ニフミマユウ。○百助。名ハ。○今村。三河。諸。

メテ是役家康ノ舉動チ贊揚スレドモ。固ヨリ狼狽セシユトモ無ケレドモ。尾張方ノ水野ノ臣淺井。

道忠ニ護送セラレ。僅カニ今村ニ送スルチ得タルナリ。後チ其功チ賞シテ。道忠ニ一百貫ノ采地。

九二

チ與ヘタルニテ知ル可シ。サレバ倭倭ノアリシ者ニテ。サマデ喋々諛言ヲ爲ス價値ハ無キ事ナリ。是他家康ノ舉動ニ付キ。往々阿諛過譽ノ言アリ。逸史烈祖成續等ハ。中ニ就テ曲筆ノ甚シキ書故ヘ。人ヲシテ嘔吐セシメントスルノ思アリ。以爲 嗣君曰ノ三字ニ作ラザレバ。記アリ。讀者切ニ其眩惑スル所トナル莫レ。○以爲 嗣君曰ノ三字ニ作ラザレバ。記

時。○戌兵 義元軍ヲ出ス時。三浦飯尾岡部等。○復歸 本領地ヘ。○謹呼 ヨロコビ。○廣瀨兵 衛門佐ナリ。○拂楚坂河 城將ハ織田。○城兵 左番ナリ。○首功 第一ノテガ。○功狀 功

ヲホメタル。○遊士 各國ヲ游歴シ。其主人。○籍口 彼レヨリ信用ヲ得ル。○矢 誓ナリ。○甥 姉妹ノ子ヲ甥ト曰。○強頂 フ。後漢ノ董宣傳ノ強項令ノ語ニ出ツ。○恐嫌疑 之レニ内

難疑ヲ受ケル。○邀戰 待チウケテ。○石瀨河 相識云云。成績ニ云マ。兩家ノ士。或ハ親族。或ハ朋友。故ニ互ニ相

織ガ。カチ竭クシ闘チ交ユ。○傷股 成績ニハ眼ニ。○刈谷下 刈谷ノ城外ナリ。俗ニ十八ト。記シ得テ甚ダ詳明ナリ。○爲先公 一戰ノトムヲヒ合戦セラレ

○醫王山 塞河 三。○鎧 義。○槍幹 エナリ。○爲先公 一戰ノトムヲヒ合戦セラレ

義。○先 先鋒セン。○昏懦 ナエノクラキ。○生父 實家ノ己レチ生ミシ父。○異心

今川ニ叛ム。○精防 フセグ義。○中嶋 三河。重定ハ織田。○岡城 佐脇 俱ニ。○其邑

成績ニ諸書ヲ引キ。中。○霸心 諸侯ノハマカシラトナリ。○僕甥 僕ノオ。○怨氏 眞川

島長良二邑ト爲ス。○小弱 ナ云フ。○天質剛銳 シテスルトキチ剛フ。○

氏ノ。參河ニ接スル殘酷ナリ。○東面 武田北條チ指ス。當時信長ノ強勢ナル。斯クマデ

費歳月 一朝一夕ノ事ニユカン。○得我心 我レノ思フ所ニ。○求和 求

逸史ナドノ。修飾ニ過グル所アルチ學ビシナリ。烈。○自立 二國共。イツレニモ附

祖成績ハ却ツテ實チ得タルニ似タリ。參考ス可シ。○求和 求

字。議ノ字ニ改メタシ。必ズシモ織田ヨリ手チ下ケ求メシニ非ズ。徳川チ呼ビ寄セテ和シタルチ

以テ見ル可シ。若シ織田ガ三百年ノ業チ開キシナレバ。竹山輩ハ。必ラズ之チ招降ストデモ書キ

テ。織田ニ諛。○介ニ大國 介ハ其間ニハサマル義。論語ニ出。○自立 二國共。イツレニモ附

チ云。○便計 便利ノ。○忘仇 織田氏ハ。父チ打チタルカキナレドモ。打。○沈溺 シツ

ボレ。○舊好 氏輝義元以來ノ。○伴爲好意 表テ向キ親切ラシク。世話チス。○収我食

我が貢租米ナドチ。○戰我兵 我ガ兵士チ追ヒ使。○倭我於敵鋒 我レチ敵ノホユサキ

我が國ニ収メ取リ。○戰我兵 我ガ兵士チ追ヒ使。○倭我於敵鋒 我レチ敵ノホユサキ

ス。○丸根大高之事 丸根ノ前驅ト爲シ。大高。○質之在駿河 時ニ夫人關口氏。世子信

駿河ニヒトシチ。○重 輕々ニ。○膏鋒鏑 劍戟ノハ。矢ノ根ナドニ。○定國界 信長其

トシ預ケアリシ。○重 輕々ニ。○膏鋒鏑 劍戟ノハ。矢ノ根ナドニ。○定國界 信長其

トシ預ケアリシ。○重 輕々ニ。○膏鋒鏑 劍戟ノハ。矢ノ根ナドニ。○定國界 信長其

トシ預ケアリシ。○重 輕々ニ。○膏鋒鏑 劍戟ノハ。矢ノ根ナドニ。○定國界 信長其

トシ預ケアリシ。○重 輕々ニ。○膏鋒鏑 劍戟ノハ。矢ノ根ナドニ。○定國界 信長其

トシ預ケアリシ。○重 輕々ニ。○膏鋒鏑 劍戟ノハ。矢ノ根ナドニ。○定國界 信長其

勝。瀧川一益ニ命シ。石川數正、高力清長ニ。鳴海。○解兵戍。丹下、鳴海、沓懸、廣瀬、舉母、梅

屋根等ノ。マモリノ。○來盟。ト。申シ越シタルナリ。○許之。許ノ字ハ。賭ニ作ル可シ。人

ニ。許ノ字ハ。○意難測。モ。ハカヲレヌトノ意ナリ。○室家。妻子ヲ。○彼何信我乎。實

ヲ。取リ返ヘサチバ。和睦ヲシタト。○業已。業行。胡三省ノ注ニ云フ。凡ソ事已ニ爲シ。而シテ未

テ。信長ハ速モ我レヲ信用ハセヌ。○業已。業行。胡三省ノ注ニ云フ。凡ソ事已ニ爲シ。而シテ未

ダ成ラザルヲ業ト。○左右。鳥居元忠。本多廣孝。○供帳。饗應ノ場所ヲ設ケ。○白餘騎

日フト。是レナリ。○石川數正、其叔父家成、酒井忠次、○通勝等。菅谷長頼、瀧川一。○憩。休息ス

植村正勝、天野康景、高力清長等。○成續ニ正滿。○喧騰。ヤク。ト。サワギタツト。○小字。オサナ。俗ニ

寺ニ作ル。○警伏。氣ヲ失フテ懼レ入り。平伏スル。是邊ナドモ餘レ慮飾ニ過ギテ。人ヲシテ讀ムニ勝ヘザ

事ニ。懼レ氣ヲ失。○榮政。成續野史ニ。○何渠。遠ト通ズル字ニテ。ナソツニハカニト訓スル

字ナルヲ。山陽翁ハ誤用セシナリ。○揮。指揮ノ義。手ヲフリ。○賜。賜ナリ。○寶刀。刀行光ノ

ハ平氏ノ記ニ詳カナリ。參看ス可シ。○擧動。フルマ。漢ノ高祖ノ秦ニ入りシ時。項羽ニ鴻門ニ謁見シ。楚

ノ急ナルヲ聞キ。軍門ヨリ衛士ヲ遣キ入り。高祖ヲ保護セシ故事。史記樊噲傳ニ詳カナリ。サレド

恐ハ後人ノ附會セシ語ナラン。當時武人ノ不學ナル。我聞ク天子ハ天下ノ主ナリト。ナド、云ヒ

テ。我が國ノ天子ノ何物ナルユトサヘ。僅カニ承知セ。○郊送。城下ソトマテ。見送リタ。鄭重

シ位ナルニ。安ソツ漢土往古ノ故事アルヲ知ラソヤ。○豈有貳心。人實ヲ差出シアル以上ハ。トフ

○諛。苦情ヲ。○使人。成瀬藤。○孳。妻子。○紓旦夕耳。差向キ一朝一夕ノ危難ヲ。ユ

ノアヲソ。○及我。我が國ヲモ。併セ取。○紓旦夕耳。差向キ一朝一夕ノ危難ヲ。ユ

義諦。逸史野史義。○東條。西尾。三河。○豪姓。其土ニ姓名ノアラハシ。○菅沼。後十刑部

ト稱ス。段嶺、新城、武節三城ノ主ナリ。又々長祿ノ主。○奧平。美作。○設樂。越中守。○西郷

將菅沼左衛門貞景。及ヒ野田ノ主將菅沼新八定盛。○牛窪。三河。城主ハ牧。○鳥屋

彈正左衛門。○皆背三氏眞來降。前車後語集ニ據レバ。家康、本多百助信俊ヲ以テ使ト爲シ。西

門正勝。○善明堤。津平。小牧。三河。○諸豪。上文ノ菅沼。○牛窪。三河。城主ハ牧。○鳥屋

長澤城トアリ。未ダ孰レカ是ナルヲ知ラズ。○孺子。小供ノ義。自稱ニ孺子ト書。○因人成

功。人ノオカケテ。テガヲ成スト云フ。○誠。ト訓ス。○啓狀。アリシ次第。○將行

爲君用也。今ハ年十四位ノ少年トモ。行ク先キニハ。○五月。上文ニ已ニ五月七月ヲ

月ハ、重復顛倒セリ。蓋シ是ノ東條ヲ降ス一段ハ。上ヨリ七月ノ前ニ入ル可キ事ナリ。而シテ其上ミノ氏眞攻ニ東條河。諸案善拒クノ二句ヲ削リ去ル可シ。諸書皆ナ氏眞來攻ノ事ヲ載セズ。是レ必ラズ無根ノ事ナリ。若シ實ニ其事アリシト爲セバ、善ク拒グト云フカヲハ。其事實ヲ記セザル可カラズ。然カレニ但マ善拒トノミ零叙スレバ。其虛傳ナルヲ知ルニ足ル。○荒川

三河 ○頼持 松榮紀事ニ義虎ニ作ル。○禪將 大將。○景通 伴五郎ト稱ス。○藤波 藤波河三擬

カシ向ケテ射ン。○義諦 西尾城ナリ。家康ノ城ヲ群臣ニ賜。○異母妹 廣忠ノ繼室戸田氏トスルヲ云フ。○西郡 東條河西郡ノ蒲形城ナリ。○松平忠次

成績逸史俱ニ松井ニ作ル。是時未ダ松平。○甲賀間諜 近江甲賀人ニ。間諜ノ術ニ長シタル者ヲ稱セズ。本書ノ謬ナリ。下文徵ス可シ。○長持走 長持護摩堂ニ遁ル。

子ヲ深知。○十八人 成績ニ八十餘人ニ作ル。非ナリ。伴資定、○外家 外野ナリ。○不敵發 下マサス。○護質 成績ニテハ、質ノ殺サレシ際。殉死人ノ

○易質 携ヲ以テ。我が質。○擁 之ヲ持シテ。言ヒテ。○串 殺

勝、水野藤兵衛、大竹兵右衛門等ノ子姪弟妹十一人ヲ。城下龍念寺前ニ串殺スト云フ。○引

間城 遠江。城將。○嵩山 遠江。城將。○五本松 月谷。萬丈谷。俱ニ。○奮袂 敵ノ執

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○徵 取リ立ツル意。成績逸史等ニハ。姑ク此レヲ借ルトアリ。實ヲ得タルナラソ。官威

○野寺 本證。○土呂 善秀寺。以上俱。○劫剽 ハギトカシ。○主謀

○門徒 一向宗ニ歸依スル者。俗。○修仇怨 シテスル。○櫻井 野羽 三河

○牌 白居易書西方頓記ニ云フ。西方佛土ニ世界アリ。極樂ト號ス。八苦四惡道

○地獄 大毗婆沙論ニ云フ。地獄トハ。地ハ底ナリ。下ナリ。萬物ノ中。最モ底下ニ在ルヲ謂

○極樂 無キヲ以テノ故ヘナリ。其國ヲ淨土ト號ス。五毒濁業無キヲ以テノ故ヘ

○鐵崎 勝堂。○野寺 本證。○土呂 善秀寺。以上俱。○劫剽 ハギトカシ。○主謀

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

○我前軍 酒井忠次。○殿戰 シンガリ。○斬重定 近藤傳二郎。○八幡河 三河。

○深溝 長澤 三河。○要地 大切ナリ。○佐崎 河。○糧儲 兵糧ノタ。○一向宗 土真宗

増上ノ暴悪ノ身語意ノ悪行ヲ造  
作スルニ由リ。地獄ニ墮落ス。○刻日 何日ト期限  
ヲ定メル。○土井竹谷形原藤井福釜 俱ニ

ノ地。○擧烽相報 以上ノ諸城若ガ。ノロシチ  
舉ゲテ。互ヒニ相報知スル。○諸公族 多クノ松  
平家ノ者。○乙部某 衛兵。○

祿之 之レニ祿ヲ與ヘシヲ云フ。シカシ舊臣ノユ  
トナレバ。復シ其祿ト書ク可キニ似タリ。○招戸田某 戸田忠次ナリ。賊軍ニ與ミ

ナリ。○後門 十ナリ。○小豆坂 或ハ厚木阪ニ作ル。小豆厚木國讀通ズ。○忠重卻 其勢ニ

逃ゲタリ。○貞次卻 君威ニ畏怖シテ。○詬之 惡口ヲ言ヒ。○阿之 阿ノ

シカリ付ケシヲ云フ。サレド字書ニ據ルニ。阿ハ責也。怒也。訓アリテ。叱。○相擬 雙方ガ。筒先

ト小シク異ナリ。矢張り逸史成績ナド。同シク叱ニ作クルヲ至當トス。○痛其覆滅 其親戚ノ賊ノ

ケル。○妙國寺河 其歸途。大久保勢ノ。○淳中ノウケ田 痛其覆滅。計ニ罹リ。頗

覆滅亡スルヲ。○獨騎 一騎ト。○低回 心アリゲニ。ユキツモトリ。○悟之 其内意ヲ

スル。○矢田馬場 俱ニ上。○賀正 年頭ノ禮ヲ。○岡太平 俱ニ三河。逸史作岡ニ作り。

作岡太平。○謝信元 客ニ待遇スル能ハサル。○其卒 召還レタ。○新一 新一郎。○二

將 水野忠重ハ。石川新七郎ヲ斬リ。水野。○土呂云云 是レハ十一日ノ事ニシ。○單騎赴

人從ヒシト云フ。○三十八騎 筑重忠、内藤信。○康孝 成績ニ康定ニ作ル。渡部

其甥 成績ニ據レバ。守綱ノ父高綱ガ來リ救ヒ。嗣君ニ迫リシテ。其甥ノ正成ガ射略シ。守綱

ナリ。○不能恤私親 主君ノ危キ場合トナツテハ。私シノ。○締突 見ズニツキ來ル。

○長吉 通稱ナリ。名ハ重治。何。○儕輩 我ガナカ。○寧墮地獄矣 上文ノ僧徒ノ分ツ

蓋シ僧徒ニ敵對スレバ。地獄ニ。○倒鋒 フ。諛史ニハ。此ノ家康ノ危フカリシヲ諱ミタル者

ト見ヘ。載セ。○交綏 シナラン。交綏ハ對酌ノ語ニ似タリ。○命 石川家成ニ命

酒井 正親。○矢田 郎。○銃隊 鐵炮組。○狙擊 ナスル。○沮喪 ウシナフヲ云フ。○西尾兵

責 後悔シテ。互ヒニ。○勸 吉田太左衛門ナル者。○厲兵 兵刃ヲトギテ。善ク斬レ。機ニ

爲ス。未ダ作者ノ意何。○拓地 鄰國ヲ切り取り。我ガ領地。○内變 國內ノ變

隙 武田今川ナドガ。我ガ内モ。○傾覆 クツガヘル義。○不旋踵 足ノクヒスチ。

テ。甚ダ迅速。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

ナルチ云フ。○容其自新 所行チ改ムルチ。許容スルチ云フ。○効力 其力ヲチ。國家ニ

○復祿 モトノ知行ナリ。其儘下シ賜ハル。 ○安堵 御咎ヲモ無ク。本ノ寺ニ落ナ着 ○渠帥 謀反人ノ

○允 聞キ届ケル義 ○幾殲 オホカクハ。打死ニシテ無クナツタ。 ○恤而賞之 大久保家

○賜此輩之命 此ノ叛徒トモノ生命ヲ。賞典ノ代リニ下賜セラレト云フ義。 ○吉良荒川 吉

○勉從之 不本意ナガテ。強ヒテ其請ヒニ從ヒシ。暴亂此ノ如シ。而シテ悉ク兄弟ヲ指ス。

○徵盟 再ビ叛カザル誓詞。差シ出サセル。 ○賜書 其罪ヲ免ス等。三ヶ條ノ願ヲ功ヲ成スハ。僥倖ノミ。

○正信等五人 賊魁島居四郎左衛門。渡邊義綱。渡邊源藏。波切孫七郎。本降將。邊守綱等。

○不許 再叛ナルヲ以テ。許サザルナリ。 ○皆西走 義諦ハ。近江ニ走リ。六角義賢ニ依リ。後ヲ攝津芥川ニ

○居伊勢神原邑 義長六世ノ孫利長。伊勢登志郡神原ニ居リ。因テ以テ氏ト爲スナリ。本書未ダ徵誤ヲ免レズ。

○其孫也 清長ノ子長政。長政ニ子アリ。長ハ清政。次キハ孫ナリ。即チ康政ナリ。小字ハ龜丸。後チ小平太ト改ム。

○嘗獲罪 僚友ト忿争シ。之レヲ擧ゲテ。擧殺セシナリト云フ。 ○已而來歸 成瀬系圖ニ據レバ。此度ノ内亂

○感激 特赦サレシ君恩ニ感マテ。心ニ奮激スル所アルナリ。 ○康元 成績ニ安

○幡豆 三河。小笠原以下。皆ナ。今川氏ニ屬セシ者ナリ。 ○牛窪楡木。一宮。吉田。田原。本能原。三河。○部伍

○解退 國ヲ解キテ。牛窪ニ向ケ退キシナリ。 ○尾撃 アトチツケテウツ。 ○鎮實 成

○相率出降 榊原清政。酒井重頼。高木廣正。森川氏。皆ナ出テ。降ル。 ○長篠。築

○政刑 諸政事。刑法等。 ○剛直 性質ノ手ニハクシテ。マツスグナルヲ云フ。成績

○沈重 オチツキテ。オモノシキ義。成績ニ沈重多シ善謀。不ニ報可。否トアリ。逸史ニ

○佛高力 高力ノ慈悲深キヲ佛ニ比スルナリ。逸史浮屠高力ニ作ルハ。非

○鬼作左 作左衛門ノ剛強善馬。禮節無キヲ。夜叉ニ比スルナリ。是

○元康之名義元所命 義元ノ命セシハ元信ナリ。元康ハ自カラ改メ

○改名家康 是レハ六年九月ニ在リ。 ○偏名 名ノ一字ヲ

○沈重 オチツキテ。オモノシキ義。成績ニ沈重多シ善謀。不ニ報可。否トアリ。逸史ニ

○鬼作左 作左衛門ノ剛強善馬。禮節無キヲ。夜叉ニ比スルナリ。是

○元康之名義元所命 義元ノ命セシハ元信ナリ。元康ハ自カラ改メ

○改名家康 是レハ六年九月ニ在リ。 ○偏名 名ノ一字ヲ

シ義家ハ祖先ナリ。已ニ死セシ人故ヘ。偏諱ト書ク方。○參河守 是レハ凡例中ニ論セシ所ノ。至當ナリ。他ノ生前ニ偏諱ト書セシト。全ク顛倒セリ。

左京大夫トナレバ。大夫ト書シ。侍從トナレバ。侍從ト書ス。逸史ノ大君。烈祖成續ノ神祖ナリ。稱謂ヲ撰セザルハ。山陽先生ノ卓見ナリ。我朝ニテ。神祖ト云ヘバ。神武天皇ニ稱ス可キニ似タリ。オホキミノ稱モ。天皇ニ稱スル語ニシテ。漢字ニ譯スレ。○定國也 一向賊ヲ平定セシナリ。○大君ナリ。僭ト諛トノ譏ハ。俱ニ免カルヲ得サルナリ。○七年ニ在リ。

大井河 遠江駿河ノ界ニ在リ。○久能河 城將宗能 久能三郎右衛門宗能。今川氏ニ屬セシナリ。ノミ書シテハ。姓無キ人ノ如シ。○松下二股高敷三族 門二股ヲ以テ。淺原勘解由。高敷ヲ是レ逸史ノ謬ヲ襲ギシ者ナリ。○見附 然書キ分ケザル可カラズ。○堀川 遠江。大澤基胤ノ部將。原藤。宇津山 遠江。守將小原資。見附。遠江。成續ニ據ルニ。山本成行ニ命ジテ。見附ニ築カシメシニ。成行其地形ヲ相スルニ。城ヲ築クニ宜シカラズ。故ニ引間ヲ改メ。濱松ト曰ヒ。城郭ヲ修築ストアリ。サレバ見附ニハ。城カントシテ。止メタル者ナリ。○略近江 湖南ノ地ヲ略取シ。足利義昭ヲ書ハ別ニ據ル所アルカ。○略近江 京師ニ入レント欲セシナリ。○箕作城 近江。觀音寺ノ城主佐佐木承禎。其將建部善八郎ヲシテ。之レヲ守ラシメタリ。○諸隊 作間信盛。丹羽長。膽生毛 謂フ。德謙大師ノ語録ニ云フ。一僧卷ニ住スル一年。歸リ拜ス。師曰ク。三日相見サル。舊時ノ看ヲ作ス莫レ。便チ胸ヲ撥開シ云フ。你道フ我が道ノ裡。殺生ノ障ヲ蓋フノ毛アルト。僧語無シト。是レヲ出典ト爲ヌニヤ。サ

レバ逸史ニ體有レ毛矣トア。○桐號 紋所。○胴服 陣羽織ナリ。胴ヨリ上ヘニ着ル故。○井方 的當ナルニ似タリ。○桐號 紋所。○胴服 陣羽織ナリ。胴ヨリ上ヘニ着ル故。○井

伊谷 遠江。菅沼定盈ヲ以テ郷導ト爲シ。之レヲ取ル。○以譏言云 直親ノ家士小野但馬。之レヲ譏シ。氏直ノ將

在。○故部 三下ノ組。○菅沼 二郎右衛門忠久。○近藤 康用。○鈴木 三郎大夫重吉。世ノ之レ

フ。○刑部 江。○引間 上。○飯尾 某 致實。或ハ教。○其部下 江馬安藝。江。○爭

事相殺 安藝。事ヲ以テ加賀ヲ殺ス。加賀ノ從士小野田彦右。○馬伏 高天神 伏。成續ニ馬

伏塚ニ作ル。本書ノ謬ナリ。馬伏塚ノ城主小笠原美濃守。高天神ノ城。○掛川城 遠。○三浦義

鎮小原資久 成續ニ小原資良。其子。○花澤 河 招久能久能不下。久能宗能ヲ招キ

ガハカリシナリ。招久能宗能。宗能不レ從ト書ス可シ。招久能。○奥平 出羽守貞勝。制髮

ハ人ヲ以テ言ヒ。久能不レ下ハ城ヲ以テ言フ如ク。文ヲ成サズ。○奥平 出羽守貞勝。制髮

菅沼 伊豆守滿直。新九。○訥 言ヲ以テセ。○背約 上文ノ我取ニ大井河以東。公取ニ大井河以

フ。○攻掛川 氏真泰能ヲ。○奏請 關白藤原前久。將軍足利義。○報可 勅答アツテ。許

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾

○前日之約 即チ大井河ノ東西。○渝 變ナリ。○天王山 江。○宗明 八左衛門。○宗明諾



宗能ノ弟宗益、宗憲、叔父宗政。○戒期、夾撃ノ期限ヲ。○宗明父子云云、本誓ノ通りニテハ、

應シタルニ、亦之ヲテ徳川ニ密告スル筈無シ。逸史ニハ、宗明悔悟ノ事ヲ叙スル詳カナレドモ、

○伏兵城外、大須賀康高、大久保忠世、本多廣孝、松

○尾而入城、内藤正成、小阪新助、大久保忠

○西宿江、破之、笠原七郎兵衛、朝比奈小三郎、菅沼帶刀、新谷小介、伊藤左近、

○環攻、四方ヨリ、取リ、○以舟師、懸橋浦ヨリ、舟ニ、○三奉行、高力、

○首謀、尾藤主膳、○其舅也、氏真ノ妻ハ、氏康ノ女ナリ、○氣賀、遠江、氣賀ノ土寇一千六百

○扶持、タスケ、ヒキ、○舊誼、フルキ恩、○讒者所間、間ハ離間ナリ、

○附ノ義、○戸倉豆伊、○授、引キ渡、○巡視、新領地ヲ巡回シ、○駿府

○金谷、江、○寡單、テ、手ウスキチ云フ、○心動、不意ニ撃ツテ取レバ、隨

博セントノ出、○託忍争、シニ、何カ行キ違ヒニテ、口論セ、○險隘、ル土地、○修府城守

之、時ニ駿府城郭灰燼、地ノ居ル可キ無シ、故ニ氏真戸倉城ニ、○戰、相模ノ三、○降正綱

○天方飯田、俱ニ遠江、天方城主山内山城ヲ、○小山、江、○元

○花澤、河、○高天神、江、○長忠、儀ニ作ル、○有

○不賞、其舊好チ舍テ、之ヲ殺シ、家康ノ歡心ヲ買ハ、○二國、遠江、

○起越前、朝倉氏、是時越、○敦賀手筒、金崎、俱ニ越前、朝倉定景金崎ニ、○長政、近江

○見事遲矣、軍ノ機會ヲ見ルコト、○扼、メ、ル、義、○朽木、江、○復來、チシテ來

○龍鼻、大崎、近江、○混戰、衆人ト打テ、○當、一面、一人ニテ、一方面ヲ引キ受

一段、讀史以下皆ナ載セズ、○慣、ル、チ、云、フ、○非素撫循、ガ指揮ニシメガハセムル者デ

○誰可者、キヤト云フ義、○識拔、器ヲシテ、○鎮西八郎、源爲、○箭

ナイト

一六

一六

一六

一六

一六

鐵ナリ。○胃胤チ云フ。○詰朝明朝ナリ。○爲四ハ先鋒次隊中軍左翼右翼

後拒ト六軍ナリ。イカニニヤ。逸史ハ左右翼ナシ。故ニ四軍ナリ。○忠次等水野忠重○數正等松平家忠。小笠原氏儀

在。○後拒ヘナリ。○姉川近。○深僧長政親戚ノ誼ヲ忘レ。淺井氏ニ應セシ。○甘

心腹一パイ。思フ存。○已定日ヨリ已ニ定リ居レリトナリ。○部伍必亂ガ。乾度混

亂スル。○擊我横。我ガ軍ニ向ツテ。ヨコ。○我當逆戰。チ迎ヘ撃ツヘシトノ意ナリ。

○踵馳。忠勝ニツイ。○河中。姉川ノ中。○又内。是時ハ甚三郎ト稱セリ。家康其功ヲ褒シ。

言フ。無内音訓相通。○禮敵槍相挽。敵ノ槍ヲツカカンテ。奪ヒ取ラント。○爲敵射。射上

ル字チ加フ。○反射。我レチ射タル者。射カヘス。○麾下將士。大久保康忠。小栗忠政。藤見新八郎。大久

秋元吉久。大久保忠佐。○奪槍。即チ箭鏃。○沿川而東。長政ハ東ヨリ來リシ故ヘ。姉川

○後拒。即チ通朝。○大奇。江近。○棟梁。爾雅ノ注ニ。屋樑チ棟ト曰フ。即チ屋脊ナリト。ムナ

梁ト曰フト。ウツマリト訓ス。俱ニ軍材ノ大ナル者故ヘ。之レチ。○首功。一番ノ。○稼。田面

ナ密接シテ。隣國タルヲ謂フ。○賑恤。救助米ナドヲ發シ。○攝津。大阪。○近畿。五畿内。○與強敵接壤

増補

○佛高力鬼作左。此無偏天三郎。上文ニ是ノ解チ爲シ。今古史談ノ韻語ト爲セシヲ揭

郎ニ作リシハ。全ク漢譯ノ萬事不理問。伯始。天下中庸有胡公。又タ飯中生。鹿范史雲。益中生

魚范菜蕪。又タ天下規矩房伯武。因師獲。印周仲進等ノ韻法ニ倣ヒ。カト作ト韻ヲ押シ。方ト郎

ト韻ヲ押シ。一種ノ韻法ト爲セシ者ナリ。上文ニ之レヲ論ズルヲ忘レ。逸史無レ方ニ作ルハ

非ナリナト辨シタリシチ。今偶然其失チ氣附キタレバ。之レチ此ニ附載スルニトセリ。

獨在 日本外史講義卷之十九

伊豫松山 近藤南州述

德川氏正記

德川氏二

是レヨリ德川氏ノ第二卷トナレリ。是卷ハ武田氏トノ取り合ヒ。三形原ノ戦ヒヲ記シ。織田信長ノ歿後。武田ノ故地ヲ併セ領スルマデヲ記シタリ。

○深長 兵力軍略ノ敵セザルヲ知。○事之 臣事セシニ非ズ。只マ禮ヲ厚フ。○欲西 其

兵ニ京師ニ揚ゲント欲スルナリ。○易取之地 近畿ニテ。敵ノ弱ハク。○致強大 卷

末ニアル如ク。是時信長已ニ近畿十餘ヶ國ヲ領シ。武田氏ノ僅々三四國ヲ領スルノ比ニ非ズ。○隨手而亡 我ガ手ヲ出シテ殺テバ。スグ

字ハ。無キ方却テ善ク通ズルニ似タリ。○勁敵 手エハクハ。○是歲 元龜元年ヲ指スナレドモ。是卷ニ入りテハ。

ニ似。○庇 スクマヒ。○難之 和睦スルヲムツ。○表意 武田氏ニ服從スル。○給以

邑 濱松ノ邊邑ニ居。○修幣 幣物ヲ贈リテ。交際ヲ結ブナ云フ。○異父弟 所生ノ母水野氏。久松俊勝

○久松義勝 烈祖成績ニハ。康俊ニ作ル。サテ久松家ノ義弟ハ三人アリ。長ハ三郎太郎康元。後

十因幡守ト爲ル。次ギハ源三郎康俊。豐前守ト爲ル。次ギハ長福定勝。隱岐守ト爲

○廣俊初メノ名ハ勝俊。松榮記事ニ義勝ニ作ル。本書之レニ從フ。○廣駿河一月。家康今川

氏ノ將小原銀實ヲ吉田城ニ攻メ。和ヲ議シ。鎮實實ヲ徵シタルニ付。康俊及ヒ

酒井忠次ノ女ヲ以テ質ト爲ス。鎮實乃チ城ヲ致シ。質ヲ携ヘ駿府ニ還ヘリ。○爲信立所奪

○至是逃出。伊賀ノ謀伴勝永ノ計ヲ用ヒ。大風雪ノ夜。守者ヲ醉飽セシメ。其意ルヲ伺ヒ。逃レ

德川歷代。並ニ年月無シ。年譜附尾ニ年月ヲ係ク。蓋シ信玄出テ。駿河ニ陣セ

○足指皆墮。シ間ニ乘リテ。逃カレ歸リシナリ。今之レニ從フ。本書ハ泛然據ル所無シ。

○長忠。ノニヒガ。寒氣ニシ。○決意絶我。氏ニ絶交シタ。德川。○構難。干戈ヲ交ルコト

○招降三族。成績ニ作ル。○招降三族。泛然トシテ通シ難シ。蓋シ上篇ノ東參河家姓菅沼與平設樂西郷諸族

降ヲザリシト云フナリ。餘程無理ナル文ニシテ。多少ノ辯ヲ費サバシ得ズ。且ツ成績ニ松榮紀

事ヲ引キシ事實ニ據ルニ。晴近ガ東參河ヲ略シ。段嶺ノ城主菅沼刑部ノ臣城所道壽。築手ノ城主

與平貞能ノ臣山崎善七郎ヲ誘シ。刑部貞能ヲ説キ降シタルニ。菅沼定盛。設樂貞通。西郷清員等

ガ。晴近ヲ設樂郡ニ攻メシニ因リ。晴近ノ引キ去リシナリ。サレバ文ノ通セザルノミナラス。事實

モ大間達ヒナリ。一説ニ。三族ハ長篠城主菅沼道壽ガ族。松下二股高敷ナリト。道壽ハ菅沼刑部ノ

家來ニシテ。菅沼氏ニ非ズ。亦タ長篠ノ城主ニモ非ズ。松下等ハ上巻ニ出テ。遠江ノ者ナリ。且

ツ高敷ハ城邑ニシテ。族ニ非レトナ。上巻ニ辯シ置キタリ。其ノチ。○獨菅沼云云。設樂西郷

東參河人ニ附會スルトハ。妄誕無稽。本文ヨリモ甚シ。笑フ可キナリ。

○諸城多陷。道壽又々長篠ノ城主菅沼正員ノ臣菅沼滿直ヲ誘シ。正員チ

○我民叛。足助邑ノ民叛。○忠門戰死。是レモ叙事混亂シテ通ゼズ。擊平レ之ノ時ニ戰死セシ

○走之。是時山縣ヲ走ラセシ如キ大捷無シ。只タ小セリ合ヒ。○去歲之勞。姊川救戰ノ

○西事殷。近畿諸國ヲ征伐スル事ガ。多端ナル意。參河遠江等。○敵衝。甲斐駿河ヨリ。ソイテ出

○徐計之。○關折。足ニテフ。○信玄何足畏哉。盧喝以テ勇ヲ挫

○榎木河。○爲我聲援。○榎木河。○爲我聲援。○榎木河。○爲我聲援。

○西島。○塗地。○一言坂。○結而。○結而。○結而。○結而。

○馬籠。○精騎。○一言坂。○結而。○結而。○結而。○結而。

○精騎。○一言坂。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。

○一言坂。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。

○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。

○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。

○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。

○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。○結而。





○天正 正親町帝 下 教信立 上野中務大輔清信ヲ遣ハ 野田河 竹橋 竹

○龜甲車 十六卷 加藤清正朝鮮晋州 鹿岩 枝付キノ樹木ノ鹿角ノ如キ 絶井泉 底

○不可犯 部伍嚴整ニシテ 手出シガデキヌヲ云フ 是時尾張人ノ 諫止スル者ナシ 乃公ノ勇 何ゾ進撃シ之ヲ破ラザル

○善笛 尺八ノ笛ヲ善ク 村松 勢山田ノ人 鳥居 衛門 標竿 紙ヲ竹竿

○喜音 音樂ヲスキユ 得非是乎 夜中ニ笛ヲ聞キニ來リシハ 信玄ニ

○定準安銃 竹竿ヲ目アテニ 子ヲヒチキ 墮一騎 誰ソカ一人ノ騎馬武者

○傳言 誰ソ言フトナク 誘降之 利ヲ略ハシテ 之ヲ

○道文 野史ニ貞勝ニ作ル 道文ハ其法名ナリト云フ 二人 忠正 叛將 城將久

○七城 逸史ニ 天方ニ 二股 六笠 角輪 一宮 臥降 足助 宮崎ノ八城ト爲ス 成績ニハ 別

○復其五城 實錄ニ 據ルニ 世子信康 宮崎 臥降 足助 降シ 平岩親吉 天方ヲ降シ 石

○途卒 信濃平谷ニテ 巡二股 是時二股ハ 未ダ降ラズ 其後子ヲ訓

○城山 一ニ 社山ニ作ル 亦々 遠江ニ屬ス 野史ニ 社山 江臺 子城 出ヲロ 熊

○歸欵 降參ノ意ヲ 德川 黑瀬 江 少子 逸史ニ 幼子名ハ 仙トアリ 成績ニ 年譜 創

○或 菅沼刑部ノ 臣 反間 スルヲ云フ 畢局 碁ノ一盤ヲ 軍監 イクサ目付

○擧族來奔 事已ニ 露顯セシヲ以テ 一族ノユラズ 戍將 築手ノ 戍 龍山

○諸將 穴山 海雪 山 擣 懸ケテ 之ヲ擧ナシナリ 不戰而去 濱松ノ 備アル

○正五位上 上 成績ニ 亡地 敵ニ 取ラレテ 乾城 遠江ノ 城主 多死者 堀小太

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

○城 松榮 紀事ニ 城所ニ 作ル 使 人出呼 シメント 謀リシナリ 不動 勿動ノ

殿藤五郎、大久保助七郎、小原金内等。二十餘人戰死ス。○高天神江。○定死。屹度死シタルニ相違無イ。○長忠。儀ニ作ル。○

二袋。百銀ナリト云フ。○馬伏壘。遠江。成續ニ馬伏。○一在上流。家康親カラ四千騎ニ

○一在下流。酒井忠次、石川數正、松井。○有吉夢。其詞ニ吉兆アリシト云フ。○命

連歌會。足シテ一百句ト爲シ。○爲恒例。是夏。長篠ノ大捷アリシヲ以テ。○成童

十五歳バカリ。○秀俊。人品ノ衆ニスグレテ。カ。○直親孤子。直親ノ父直滿。肥後守ト稱ス。

シテ。從兄直盛ノ養子タリ。直盛ノ父直宗ト云フ。直滿ノ兄ニシテ、井伊谷ニ居リ。直滿ノ宗家

ナリ。直盛、今川義元ニ從ヒ。桶狹ニ戰死シ。宗家斷絶ス。直親嗣ヒテ井伊谷ニ居リ。復タ肥後守ト

稱シ。今川氏ニ屬ス。家人小野但馬。直親尾張ニ貳アリト譏ス。氏眞之ヲ殺ス。其子直

政、年二歳。氏眞之ヲ殺サント欲ス。新野親規之ヲ憫ミ。哀ヲ乞ヒ。收視セシト云フ。○繼

父云。新野親規引間城ニ戰死ス。今川氏眞復タ直政ヲ殺サント欲ス。親規ノ妻。之ヲ佛院ニ

匿シ。免カルヲ獲タリ。後十直親ノ寡婦奥山氏。再ヒ參河ノ人松下清景ニ嫁ス。清景乃チ

直政ヲ迎ヘ翰。○部曲。皆十部曲アリ。大將軍ノ營五部。部ニ校尉一人。部下ニ曲アリ。曲ニ

トニ軍候一人アリト。是時井伊谷ノ三人衆近藤給木菅沼ヲ以テ。部屬ト爲ス故ノ如クシ。○宇

又タ木股守勝。庵原勝重。西郷政直ニ。之ヲ保護セシム。直政年甫十五ナリト云フ。○宇

理河。○文無害。漢書蕭何傳ニ。以文無害ニ爲沛主史。顏師古ノ注ニ。害ハ傷也。人ノ能ク

諸囚。注ニ。律ヲ案ズルニ。無害都吏アリ。今ノ公平吏ト言フ如シ。漢書蕭何傳ニ云フ。文ニ於テ在害

スル所無シ。蕭何文無害ヲ以テ云々。正ニ此ノ如キナリト。カレバ無害吏ハ。本ト漢律中ノ語ナ

リ。亦々文選ノ注ニ。文法ヲ守リ。人ニ害セストアリ。亦々漢書薛林ニ。劉攽曰ク。法ヲ持スル者。

或ハ已意私怨ヲ以テ。人ヲ陷ル。之ヲ害ト謂フ。故ニ文ニ於テ害無キヲ文無害ト曰フト。諸説皆

十同シ。而シテ顏師古。○胥徒。今ノ小使ノ類。周禮天官冢宰ニ。胥十有二人。徒百有二十人。注

ト異ナリ。師古誤ル。○胥徒。今ノ小使ノ類。周禮天官冢宰ニ。胥十有二人。徒百有二十人。注

者。故ニ胥一。○稅務。年貢取リ。○異圖。謀反ノモ。○小谷。甚左。○倉地。平左衛門。平或

徒十ナリ。○山田。八藏。○管鑰。シヤウマ。○啓。手引キ。○刻期。日限チ。○中悔。中途テ。逆謀

シ。○自首。自分カラ罪狀。○其臥内。山田ノ子マ。○逃。二人トモ逃ガレシニ。倉地ハ捕

マ。○窮治。ガウモン。○反接。バリ上ゲル。○二城。濱松ト岡崎。○妻子。其ツマユ五

云。○生理。生キナガラ。地中ニウツメテ。○鋸。竹ノユギリコテ。ヒキ、リ。○榎木。河

轉。岡崎ニ向フ可キ。○牛窪。吉田。法藏寺。鳶巢山。三河。○饑道。兵糧ヲ運。○大六

名ハ。○貞能。信昌ノ。○蕪城。貳城ナリ。形似ニ因リ名。○環。塹柵。城内ノ人ノ出ヅル

重常。○勝高。常山絶談ニ。○倨強。伏セザルヲ云フ。○臣請。勝高ハ信昌ノ

リ。サカモギチ。メツ。○勝高。勝商ニ作ル。○倨強。伏セザルヲ云フ。○臣請。勝高ハ信昌ノ



ノ字姿カラザ ○縋而出 縋ニテツリ下ケテ。 ○鉛硝 鉛ハナマリナリ。銃丸 銃ハ火藥ナリ。 ○延領遲

報 イル。蓋シ待ナカヌル貌ナリ。 ○邏兵 リノ兵士。 ○諭之 武田信綱ニ命ツテ之レ

甲士 ムシヤ。 ○露亦擁之 トリマクナシ云フ。 ○努力 ルテ。 ○不出三日 三日以

ナ云 ○亦叢 アツマリ來ルナシ云フ。 ○防備 手當テ。 ○高松設樂 信長ニ設樂ノ極樂

寺ニ軍シ。信忠ハ御 ○重柵 フ所ノ植柵三層トアル是レナリ。 ○穿塹 武田信綱ニ記トモ

堂山ニ屯ストアリ。 ○上國 カミガタ。 ○歸志 徳川ニ志。 ○援軍易與狀 織田ノ援兵ハ相

戰セズ。 ○候騎 ノ騎兵。 ○氣沮 ガ爲メ。餘レ織田氏ヲ抑ヘ過ギタルニ

績ニ云ク。信長甲州ノ武威ヲ畏レ。柵ヲ樹テ。塹ヲ設ケ。守備ノ計

チ爲ス。公若シ兵ヲ出シ之レヲ擊ツ。勢朽ヲ推ク如キナリ云々。 ○瀧澤 川ノ名

矣。死亡ス可キ危キ地ニマテ。引キ入レタト云フ義。是 ○記 記牒ノ義。オボ

左傳ノ泌ノ戰ノ叙 ○公族 即チ武田ノ一族ヲ謂フ。 ○銳甚 ハナハダシキナシ云フ。 ○願後 シウ

法ヲ學ビシナリ。 ○候騎 ノ騎兵。 ○氣沮 ガ爲メ。餘レ織田氏ヲ抑ヘ過ギタルニ

似タリ。如何ントナレバ。長篠ノ功ハ八分ハ信長ノ功

ナリ。豈ニ阿波ノ筆ヲ以テ。之レヲ埋没スルヲ得ンヤ。 ○間 ニノ義。 ○寡廉 兵寡ク。且ツツカ

○擄蝦舞 エビスクヒノマイ。諸書ニ夷舞ニ作ル。國語ノ近キヨ

○寡君 徳スクナキ主人ト云ヒ。我が主君ナ

ル。 ○斥 座席ヲシリ。 ○擧燧 ノロシチアゲテ。披ノ地ニ達

絶先祀 父子トモ打死ニシテ。先 ○訣飲 カヅキスル

齋果ヲ守ル。 ○大噓 トツト時ノ

位ニ易ヘタ ○彼客 織田氏ハ援軍ニシ

騎兵 ○敵中軍 即チ武田ノ

セナノサシモノ ○督衆 衆兵ヲサシツシテ。

○舊臣 諸第ノ臣ナ

○傳令 命令ヲ傳ヘテ。一齊ニ

○宿將 昌次、眞田信綱、昌輝、横田康量、甘利藤藏、原胤長、安中左

○卯 今ノ午

○午 正午十二時。

近、望月甚八郎、根津神平、城伊、  
菖、小橋昌盛、興津十郎兵衛等。  
○精兵、チリ上ケ、タル兵士。  
○長驅、トユマデモ、カケタタルヲ云フ。  
○弗

聽而去、是時上杉謙信猶在、信長ノ勝ナニ、  
狂レザルハ、萬全ノ策ト謂フ可シ。  
○許以女妻之、初メ貞能父子ノ、敵ヲ  
濱松ニ歸クル。勝頼怒

リ。信昌ノ妻ヲ嫁ス。故ニ是ニ至ツテ、信長、西尾吉次ヲ遣ハシ、信昌  
ノ勇敢ヲ褒シ、家康ニ命ジ、其長女ヲ以テ之レニ妻サシムト云フ。  
○岐阜、美濃ノ治所。

襦氣、鏡氣ヲウバ、レテ、キ、  
モチツブスヲ云フ。  
○扈從、主人ノ後ニト、  
モニツク。○長鬣將、ナガキクナヒケノ大將ト  
云フ義。長鬣ノ字左傳ニ出

ツ。盤或ハ髯ニ作り、鬚ニ作ル。  
皆ナ非ナリ。今河越本ニ從フ。  
○拜趨、俗ニ罷リ出ツ、  
ルト云フ義。○絶類超群、同類中ニスグレ、群人

○二股、遠江ノ守將、依田下野。  
○蛭原岩江、遠江ノ光明城、又太郎、天野景實之レヲ守ル。  
○諸將、忠

康政、○諏訪原、遠江ノ守將室賀一、  
葉軒、小泉源次郎。○田中、駿河ノ高天神、  
江ノ松平、是レモ松井ト齊

○偏諱、其名ノ一字ナリ、是、  
レモ偏名トス可シ。○名城日牧野、  
諏訪原ヲ改メテ、牧野ト曰ヒシナ

村也、段ノ村王暴虐ナルヲ以テ、周ノ武王之レヲ伐ナ、  
之レヲ牧野ニ滅ス。故ニ勝頼、  
比奈、小原等、之レヲ守ル。○二城、  
光明、二城。○師暴、  
雨露又ハ天日ニ

○戰、マトメ、  
○小山、  
○比股、  
○攻二股、  
將依田

下野病死シ。子信番、衆ヲ聚シ之レヲ守  
ル。故ニ喪ニ乘シテ之レヲ攻メシナリ。  
○伯耆塚、八荒山、  
遠江。○岩村、  
美濃ノ守將秋山

右衛門ヲ擒ニシ。附近ヲ燦シ。以テ勝頼ガ、  
與、  
○水野信元、  
別屋ノ城主、  
即チ家

通岩村、初メ岩村城ヲ建シ。信元ニ就キ、  
貨ヲ以テ糧ヲ乞フ。  
○遂賜死、  
家康、  
信元ヲシ

ナ。平岩親吉ニ命ジテ、之レヲ中路ニ殺スト云フ。  
○季子、  
後チ秀忠ノ、  
侍臣トナル。土井大

○横須賀、  
遠江ノ芝原上。○南山、  
駿河遠江ノ地ハ、  
甲

○榑井岩、  
遠江ノ成統ニ稱山  
ニ似タリ。○山梨、  
遠江ノ逸史ニ山科ニ作り、  
注ニ云フ。遠地、  
一作山梨ト。成

○田中、  
守將一條信龍。○國安河、  
駿河ノ高天神ノ  
城下ニ在リ。○持舟河、  
駿河ノ出

○總社、  
山ノ名。○信元孤子云云、  
信元ノ害ニ遭フヤ、  
孤子利勝年僅カニ二歲、  
其母

土井小左衛門利昌ニ嫁ス。利勝從ヒ利昌ノ家ニ在リ、  
因テ土井氏ヲ冒  
○剛厲、  
手ニハク、  
ハ

○所生、  
ウミノハ、  
○妬悍、  
チダミフカク、  
氣質ノア

○其婦、  
信康ノ妻ナリ、  
婦ハ、  
○爲姑氏所離間、  
姑氏ハシフトメナリ、  
離間ハ、

○爲姑氏所離間、  
夫婦ノナカマガヒスルヲ云フ。  
○

○爲姑氏所離間、  
夫婦ノナカマガヒスルヲ云フ。  
○

○爲姑氏所離間、  
夫婦ノナカマガヒスルヲ云フ。  
○

姑氏陰事 逸史ニ據ルニ。關口氏疾アリ。甲斐ノ醫減慶ナル者ト森シ。遂ニ病心ヲ萌シ。大事ヲ行ヒ。世子ヲ立テ。之レニ勸メ武田氏ト好チ通シ。共ニ織田氏ヲ滅シ。以テ其地ヲ分

マント欲シ。滅慶ヲシテ甲斐ニ往キ請ハシム。勝頼悦ビ之レヲ許ス。關口氏密ニ其備ヲ爲シ。世子ノ從ガハザルヲ恐レ。未ダ發セザルナリ。侍女其謀ヲ織田氏ニ漏泄ス。織田氏人ヲ馳セテ。之レヲ

信長ニ告グト云フ。○信 是時世子ノ罪ヲ媒棄スルニ至レバ。純臣トハ言ヘズ。平岩親吉ニ愧ツル萬々ナリ。○憂悖 ウレヒ。○大濱河 ○使俟後命 ヌセルヲ云フ。○哀訴 我が罪無

カナシミ。ウ ○傳 世子ノモ 材武 器料ノアリテ。武 遽 スケニ處分スルヲ云フ。○毋狀 不行届キナル意。○堀江 遠 ○誅關口氏 野中重政ニ命ツ。之レヲ 不曉少

將意 筋カニ之レヲ奉ツテ。逃ガレシメントノ意ヲ。氣付カザリシヲ云フ。成續ニ云フ。初神祖屢遷ニ從世子。蓋有ニ微意。而諸將不悟。時人皆咎ニ元老重臣ト焉。文意尤モ明快ナリ。

○姪人 ナリ。○其郷 參河産見 ○萩丸 即チ越前中納言秀康ナリ。○酷肖君 其相貌ガ。甚ダ主君子ト爲セ

○戰國 亂世ニテ。戰爭 子事トスル國。○宜多子矣 一族ノ多キガ。國ノツム 義子景虎 北條氏康ノ子ト爲セ

○從子景勝 謙信ノ姊夫政 景ノ子ナリ。○三國 織田氏、德川氏、伊豆ノ北條氏 領國

○美濃 織田氏 領國。○東顧 東國ノ方ヘ心 配スルヲ云フ。○黃瀬河 河 約不可違 川兵チ

駿河ニ出サント云フ約束。○乘其弊 二人ノ戰フテ。弊者ア 濶戸 駿河西郡 地名。○持舟

由井 俱ニ 敵城 田中城 瀧坂 河 侵掠而還 步卒ニ花澤ノ禾苗ヲ暴シ。田中

○連岩 鹿鼻等ノ十三岩 持舟兵 上文ニアル如ク。一旦持舟城ヲ拔キシモ。其地敵ニ

成兵ヲ置カザリシ。是ニ於テ勝頼其壘壁ヲ修築シ。田中江尻ニ城トシ。聲援ヲ接ツ。朝比奈氏秀ニ之

レヲ守ラシメタリ。サレバ是ノ持舟兵トハ。朝比奈ノ手勢ナリ。本音ニテハ。已ニ援キシ持舟城

ガ。何故ヘ再ヒ武田方ニ ナリシヤ。分明チ欠ク。○大井 大井河 初小笠原氏叛 小笠原長忠。高天神ヲ以テ。

○監軍 付ノ役。○唾罵 ケテ。ノ、シル。○幽于石窟 一ハヤノ中ニ。オシコシラ

ナリ。成績ニ載スル所ノ大河内某ノ事 實ハ。是レト全ク異ナリ。參考ス可シ。○瘞 足ガスハリスクミ 遠目 鞠子。久能。江尻

俱ニ 遣人 山本成行 府中 駿河。今ノ 市川 上 毫毛不犯 毛一本ホドモ。人

カスユト ○古府 信玄以來ノ舊治所ナリ。莚崎 榎山 上ニ立テ龍ルヲ謂フ。越王 天目

山 甲 乃公 ナンヂノキミト云フ義。諸侯 不得高枕 安眠スルヲ得 何狀也

ナント云フ意。○胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

胡床 ナリ。○五州 河上野、下野。○歸心 其禮節ニ厚キニ感シテ。心ヲ向ケタルナリ。成續

ニ是事ヲ載セズ。蓋シ諷者ノ曲筆ニ出  
テ。織田徳川ニ抑揚ヲ爲セシナラシム。○初誘云云 信濃ノ半ヲ給セント。言ヒシト云フ。○

遠捕 追ヒテテ、○期無遺類 一人ノノル者無キマデ。殺シ盡、○庇 内々カクマ  
捕縛スルヲ。○期無遺類 一人ノノル者無キマデ。殺シ盡、○庇 内々カクマ

○隸部下 屬セシメタニ附 ○諏訪 信濃 ○爪牙 將士ヲ以テ。禽獸ノツメキヤニ比シ言フ。時  
ノ句ヲ承ク。○易爲力 仕事ガ爲シヤスシトノ意。○寓居 ナリ居ルヲ。○寓公 諸侯ノ

ヲテ。他國ニ寄寓スル者ヲ謂フ。禮記  
ニ。諸侯寓公ヲ臣トセズノ語ニ出ツ。○一郡 巨摩郡。○統屬 ガヘル義。○經畧 モリチ付ケ

ヲ。治ヲ爲 ○節度 アレバ。家康ト議ス可シト旨ヒマデニテ。一々家康ノサジツチ受ケヨト言  
スチ云フ。○節度 アレバ。家康ト議ス可シト旨ヒマデニテ。一々家康ノサジツチ受ケヨト言

非ズ。○信長焚 惠林寺 佐々木承禎ノ二子高定。嘗テ將軍義昭ニ勤メ。信長ヲ擊タシム。故  
ニ至リ亡ケ去リ。甲斐ノ惠林寺ニ匿ル。信忠、河尻秀隆チシテ之ヲ索メシム。僧徒可カズ。密ニ

高定チシテ亡ケ去ラシム。信忠怒リ。將佐ヲ遣ハシ。火ヲ惠林寺ニ縱ツ。僧徒焚ケ死スル者八十四  
人ト云フ。本誓信長ト爲ス。少シシ誤

ル。惠林寺ハ。武田氏累世ノ聖域ナリ。○除道 道路ノサフ  
ガ自身ニテ。膳ヲスエ

テ。取持ナセラレタ。○酒井 忠次 ○大久保 世忠 ○石川 正徹 ○井伊 直政 ○本多 勝一 ○

榊原 康政 ○侍食 相伴シテ馳 走ニナルヲ。○優人 能チ舞フ藝 人チ云フ。○遊觀 アツビ。カン  
リ。○睡 權ナ

○小隊 小人數 紀伊ニ往キ。嚴森ノ賊チ

○將 畧 南海 平ヲゲント謀リシナリ。○界府 泉 ○候 信長 一 最

ヤ上京セラレシヤ。其 模倣チウカマハセル。○牧方 河内。野史ニ枚方 是ナリ。○回指 フリカヘリミテ。ユビヤスチ云

○天烟 本能寺ヲ焚キ シ火烟ナリ。○飯盛山 河内。何カ異變ノアリシナ 推察スル。○五將 前ノ

ノ中ニテ。本多 隊中ヨリ。○前 晴延 晴延チ。我が馬前ヘ。○十騎 少將

將ト。本多茶屋ノ二人ト。長谷川秀一ト。合セテ九人ナリ。蓋シ 聚馬首 馬ノカシラ

信長チ加ヘ。十騎ト弄セシナレドモ。行文明瞭チ欠クニ似タリ。○聚馬首 馬ノカシラ

北上 北ニ向ッテ 上京スルヲ。○獻異議 申シ上ゲル義。○要地 要害

ノ云。○貽 禽 我レト我が生ケドラル、敵ニ。○取笑 天下 天下ノ人ニ。ソラ

誅討 計畫ヲ爲スト云フ義。○老成 之慮 年々ケテ。フンベツノアル考ヘ

人 是時忠勝 行ク先キノ本街道チ。クヒ

是ノカイツイノ者ガ。平素ヨリ臣ガサシツニ。○越智 玄蕃 逸史ニ十市遠光トア

ナレテ。善ク言フニトチ聞クト云フ意ナリ。○高力 清

長 上文六將中ニ。清長ナシ。是ニ至 攘 疑 徳川ノ臣下ニ非ル故ヘ。ツル氣チ

ナリ。突然之レチ記ス。疑フ可シ。○攘 疑 徳川ノ臣下ニ非ル故ヘ。ツル氣チ

○普賢谷山城 ○草内渡 同上。木津川ノ

○木津城 ○擬銃 鉄炮ニテ撃チ殺サント。

○鐵 舟チ岸ニ ○槍斃 シツキ。 ○撞破 ツキツ

○防 追者 一波ル可キ舟ノ無キ様ニ。

○宇治河山城 ○茶商 宇治ノ茶チ

○設 篝火河上 一チ。宇治河

○二國 尾張。

○利之 益ニスル義。 ○熱田 尾

○畿道 畿内ノ道。 ○扞衛 賊チフセギ。主君

○聞 變 信長ノ弑逆ニ遭ヒシ

○騷擾 立ツ。 ○藉 持ム義。

○凌 轢 國人 甲斐ノ國人チ。

○百助 信俊。 ○流言 言

○殺 鎮吉 一 彌一郎。之レチ殺ス。

○森 長可等云云 長可、川中

○柏 坂嶺 斐 甲 ○骨 硬

○介 紹 介人ナリ。中間ニ居リ。

○大 村 某 三右衛門。及

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

○大 村 某 比其子伊賀。

小笠原信元。其族安次。山田時忠等。皆十三枚橋城ヲ守レリ。庶親一人ニ非ズ。○沼津河

○甲斐人斬使者。中澤繼殿右衛門。斬リ。唐子。○招降昌幸。信蕃其族次右衛門ヲシテ。中澤新兵衛使ヲ

保科正直。是時高。○取箕輪。信濃伊奈郡主藤澤頼親。箕輪郡ニ據リ叛。○高遠。信

○平澤。信。○訥。言ヲ以テ責。○偽和。表向キイツハツテ。○河中島。前山。高柳。小田

井。俱ニ。○盡。屬。我部下。平原善正。平尾平藏。大井民部少輔。小山田六左衛門。森山豊後。

○檢。其采邑。其領地ヲ取。○無。所。更。變。舊制ヲアラマシムカヘル所無ク。○厚。歛。手

○小宮山内膳。名ハ晴友。數々勝頼ヲ諫メ。廢鋼セラル。勝頼ノ天目山ニ。○山縣。昌。○土屋

○原。長。○一。條。龍。○軍。裝。ノ。裝。束。○用。赤。色。成。績。ノ。注。ニ。云。フ。甲。陽。軍。靈。ニ。據。ル

○苛。刑。キ。刑。法。○建。寺。于。田。野。勝。頼。ノ。諡。號。ニ。取。リ。寺。ヲ。景。徳。院。ト。號。シ。祭。田

○以。降。附。四。人。掌。探。訪。成。績。ニ。據。ル。ニ。歸。降。ノ。士。櫻。井。某。市。川。伊。清。齋。工。藤

テ。濱。松。ニ。達。セ。シ。ム。ト。是。レ。ナ。リ。○本。書。迄。然。降。附。四。人。ト。云。ヒ。テ。○別。ニ。指。ス。所。ナ。シ。○叙

○納。幣。事。體。ヲ。成。サ。ズ。探。訪。ヲ。掌。ル。ト。ハ。土。地。ノ。人。情。風。説。等。ヲ。氣。ヲ。附。ケ。テ。取。リ。聞。ケ。ル。ナ。リ。

○賀。平。定。一。甲。斐。ヲ。平。定。ス。ル。○康。親。功。顯。年。三。枚。橋。城。ニ。在。リ。テ。善。ク

○河。東。二。郡。駿。河。大。井。河。ノ。○岩。尾。信。濃。城。主。巖。尾。小。○祿。其。子。云。云。長。子。源。十。郎。次

○康。親。例。松。平。康。親。ト。賜。ヒ。シ。例。ナ。リ。○守。將。宇。佐。美

○定。行。成。績。ニ。家。忠。日。記。ニ。據。リ。城。主。大。導。寺。駿。河。守。政。繁。ニ。作。ル。蓋。シ。本。書。ノ。誤。ナ。リ。○宇。佐。美。定。行。ハ

主。字。佐。美。定。行。奔。遠。越。後。ト。ア。リ。○サ。レ。バ。上。杉。氏。ノ。臣。ナ。ル。定。行。ト。爲。ス。ニ。似。タ。リ。○然。レ。モ。定。行。ハ。謙

信。在。世。ノ。時。既。ニ。長。尾。政。景。ト。俱。ニ。野。尻。湖。ニ。沈。ミ。死。シ。タ。リ。○今。日。安。ヅ。世。ニ。在。ラ。ン。ヤ。其。謬。誤。明。瞭。ナ

○成。績。注。ニ。又。云。フ。松。榮。紀。事。上。文。ニ。云。フ。柴。田。康。忠。上。杉。景。勝。ノ。部。下。小。諸。巖。尾。ノ。二。城。ヲ。攻。ム。ト。

之。レ。ヲ。取。ラ。シ。ム。ル。ナ。リ。故。ニ。今。疑。ヲ。闕。キ。景。勝。ノ。部。下。ト。書。セ。ズ。云。々。○成。績。ノ。注。此。ノ。如。シ。○サ。レ。バ。是

時。既。ニ。北。條。氏。ト。和。ス。レ。バ。其。臣。ト。戰。フ。筈。ナ。シ。○是。時。大。導。寺。ハ。屹。度。景。勝。ニ。屬。シ。居。タ。ル。ニ。相。違。無。キ

○酒。井。忠。次。護。送。之。矢。部。四。郎。右。衛。門。鞆。殿。○上。田。信。○沼。田。上。野。是。時。昌。幸

○上。野。是。時。昌。幸。○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑

○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑。○上。野。是。時。昌。幸。○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑

○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑。○上。野。是。時。昌。幸。○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑

○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑。○上。野。是。時。昌。幸。○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑

○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑。○上。野。是。時。昌。幸。○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑

○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑。○上。野。是。時。昌。幸。○沼。田。又。々。沼。田。ノ。屬。邑

獨學日本外史講義卷之二十

伊豫松山 近藤南州述

德川氏正記

德川氏三 是卷ニハ。德川氏小枚長湫ノ勝チヨリ。關東轉封ノ後。豐臣關白ノ歿スルマデノ事ヲ記シタリ。

○天正 正親町帝ノ年號。○賀正 新年ノ賀禮ヲ申シ上ケル。○略有 併セトリテ。所有スル義。○熾盛ナ

ノミナシニナリ。○孤正 申シ上ケル。○略有 併セトリテ。所有スル義。○熾盛ナ

年己ニ長ゼリ。孤トハ曰ヘズ。當ニ二子ニ作ルベシ。○不克而死 事ハ十一

滅 亦十一。○類 低頭ノ義。○孤立 ナスル。○激 セルヲ立テサ

亡狀 無證ナルシムケスル。○誅之 之ヲ長島城ニ誅殺シタリ。○其邑 岡田ノ邑星崎。津

ノ邑刈安。○益窘 既ニ孤立セシ上ヘ。○厚誼 手アツキ交。○其孤 是レモ其子ニ作ル

○窮蹙 困シムマリ。○拔星崎 即チ岡田重善ノ城邑ニシテ。尾張ノ地ナリ。信雄ノ重善ヲ

衛門、須賀太左衛門等ト。星崎城ニ據リ。信雄ニ反シタリ。家忠日記、松榮紀事ナドニテ

ハ、水野忠重ハ、是時信雄ニ屬シ、未ダ德川氏ニ臣付セザルニ似タリ。イカバニヤ。○四近 方

ノ近 ○虞ル意 ○備北面 上杉氏ニ手當 ○東面 北條氏ナリ。成徳ニ據ルニ。松平

天野康景ニ與國寺城ヲ守ラシメ。以テ不虞ニ備ヘ。島居元忠、平岩親 ○敵攻ニ城邑者云云

吉及ヒ武川ノ將士ニ甲斐ヲ鎮撫セシムトアリ。少シク本營ト異ナリ。 ○敵攻ニ城邑者云云

家忠日記ニ據ルニ。浦生氏郷、長谷川秀一、日根野弘就等ノ部兵。信雄ノ將佐入間正勝ヲ。伊勢ノ

嶺城ニ攻メシガ。家康援軍ヲ爲スヲ聞キ。敢テ進マリサシナリ。往々解圍去トハ。稍ヤ事實ヲ失

スルニ。 ○清洲 張尾 ○安之 御安心ア ○戰守之策 戰フト。守ルト。孰レ ○小牧山

似タリ。 ○瞰 シタメニ。 ○往年 天正二年。長篠 ○踰川 瀧澤川ヲ踰ヘテ。背水 ○盃 監

張尾 ○瞰 シタメニ。 ○往年 天正二年。長篠 ○踰川 ノ陣ヲ取リシヲ指ス。 ○盃 監

焉 深カ入りシテ。取テ取リシ前例ヲ引キ ○不可比也 當時武田ハ弱ク。徳川ハ、強練ナリ

ナレバ。○シラベモノニ ○故壘 城アト。 ○間使 シノヒノ ○雜賀 僧徒。 ○根來 眞言

僧徒。雜賀ト ○阿波土佐諸豪 長曾我部元 ○據大山 尾張。城主中川勘右衛門。嶺城ヲ

俱ニ紀伊 ○夜ニ乘シ。急ニ攻メ之ヲ取ル。 ○羽黒 張尾 ○鬼武藏 是レモ夜叉武 ○嘗試 ニノ意。

○搏 手撃 ○技倆 云フ義。 ○縱火 火ヲ樂田、羽黒、五郎丸近 ○八幡林 張尾 ○或

止之 信輝ノ臣片桐半右 ○按兵 兵ヲオサヘ ○下突 シテ。ツイテカ、ルヲ云フ。 ○小

幡 張尾 ○按視 シラベ。氣ヲ ○後矣 山ヲ取ルコトカ ○空壕 水ノ無キ ○使數千

人守之 日根野弘就、其弟彌次右衛門ヲシテ。 ○頓 スル義。 ○彌亘 ヲツバキツ ○移檄

イクカフミ ○茂葉 ナイガシロ ○爲鬼爲賊 詩ノ小雅何人斯篇ニ。爲鬼爲賊。則不

リ。人ノ精魂ノ歸スル所。俗ニ云フ。幽靈ナリ。賊ハ短狐ナリ。水中ニ居リ。沙ヲ含ミ。以テ水中ノ

人影ヲ射ル。其人輒ナ病ミ。而シテ其形ヲ見サルナリ。是レ其惡逆無道。人理ヲ失スルヲ言フナ

ル如キ文ヲ作り得ンヤ。蓋シ後人ノ修飾ニ出ヅルナラン。 ○遺孤 ノユサレシ。ミナシ。信雄

當ノ語 ○不切齒 齒ヲクヒシバツテ。憤激 ○比肩 同等ノ人ナ ○先君 信長ヲ ○爲

其所驅役 秀吉ノオヒツ ○依託 信雄ノヨノ ○五國 三河、遠江、駿 ○大義所臨

君嗣ヲ護シ。逆臣ヲ討スル。大義ヲ 維持シテ。臨ミ向フ所ト云フ義。 ○豎子 秀吉ヲ 指斥ス。 ○歸順 逆ヲ棄テ。順正ヲ

償 功ヲ立テ。自分テ是レマダノ ○身首異處 身體ト首トチ。ニツニ斬リ。 ○購 金

ヲ求ムル意。 ○塹柵 秀吉ノ設ケシ。ホリト。 ○尊公 義。信長ヲ指ス。 ○擅進 命令ヲ待

手ニス。 ○遺書 増田長盛ニ。書チ ○銃長 鐵炮組ノ ○前部 手ノ ○私答書 分



ノ考ヘニテ ○不足<sup>ズ</sup>以<sup>テ</sup>聞<sup>ク</sup>寡<sup>ク</sup>君<sup>一</sup>ルニ足<sup>ラ</sup>ス。 ○樂<sup>ラ</sup>戰<sup>セ</sup> 士<sup>ノ</sup>死<sup>ヲ</sup>願<sup>ミ</sup>ズシテ。ス。○戰<sup>フ</sup>返<sup>ル</sup>事<sup>ス</sup>ル。 ○斷<sup>レ</sup>後<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>備<sup>ハ</sup>ト<sup>ヘ</sup>退<sup>カ</sup>レ<sup>ヌ</sup>手<sup>當</sup>テ<sup>チ</sup>爲<sup>ス</sup>ス。 ○不<sup>ニ</sup>必<sup>ズ</sup>須<sup>ク</sup>此<sup>也</sup> 無<sup>レ</sup>理<sup>ニ</sup>。

一樂<sup>ト</sup>戰<sup>ト</sup>出<sup>ツ</sup>。 ○斷<sup>レ</sup>後<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>備<sup>ハ</sup>ト<sup>ヘ</sup>退<sup>カ</sup>レ<sup>ヌ</sup>手<sup>當</sup>テ<sup>チ</sup>爲<sup>ス</sup>ス。 ○不<sup>ニ</sup>必<sup>ズ</sup>須<sup>ク</sup>此<sup>也</sup> 無<sup>レ</sup>理<sup>ニ</sup>。

斷<sup>レ</sup>後<sup>ノ</sup>手<sup>當</sup>テ<sup>チ</sup>ナ<sup>ト</sup>。 ○上<sup>ノ</sup>邱<sup>而</sup>罵<sup>ル</sup> 逸<sup>史</sup>ニ<sup>云</sup>フ。秀<sup>吉</sup>左<sup>右</sup>數<sup>騎</sup>馳<sup>セ</sup>出<sup>ツ</sup>。○不<sup>ニ</sup>必<sup>ズ</sup>須<sup>ク</sup>此<sup>也</sup> 無<sup>レ</sup>理<sup>ニ</sup>。

ス。秀<sup>吉</sup>顧<sup>ミ</sup>呼<sup>ブ</sup>曰<sup>ク</sup>。天<sup>授</sup>ノ<sup>命</sup>主<sup>ト</sup>。銃<sup>モ</sup>亦<sup>チ</sup>中<sup>ラ</sup>ズ。○無<sup>レ</sup>繼<sup>ハ</sup> 後<sup>ツ</sup>ツ<sup>ノ</sup>。

○窟<sup>ク</sup>穴<sup>ニ</sup>比<sup>シ</sup>。○渠<sup>カ</sup>魁<sup>カ</sup> 家<sup>康</sup>ヲ<sup>指</sup>ス。○沈<sup>シ</sup>吟<sup>ニ</sup> 熟<sup>考</sup>ス<sup>ル</sup>。○速<sup>ク</sup>斷<sup>ル</sup>。

之<sup>ハ</sup>ハヤク決<sup>斷</sup>セ。 ○翌<sup>ノ</sup>夜<sup>六</sup>日<sup>ノ</sup>。 ○篠<sup>ノ</sup>木<sup>柏</sup>井<sup>岩</sup>崎<sup>尾</sup> 俱<sup>ニ</sup>。 ○賈<sup>ノ</sup>人<sup>紀</sup>事<sup>ニ</sup>ハ。篠<sup>ノ</sup>木<sup>家</sup>康<sup>ニ</sup>告<sup>ケ</sup>シトアリ。 ○聞<sup>ク</sup>警<sup>ノ</sup> 敵<sup>ガ</sup>不<sup>意</sup>打<sup>チ</sup>ス<sup>ル</sup>ト。 ○丸<sup>ノ</sup>根<sup>尾</sup> 張<sup>ル</sup>。 ○規<sup>ノ</sup>之<sup>様</sup>子<sup>チ</sup>サ<sup>グ</sup>リ。

○晡<sup>申</sup>刻<sup>今</sup>ノ。 ○燧<sup>起</sup> ア<sup>ガ</sup>ル。 ○爲<sup>號</sup>也<sup>ル</sup>ノ<sup>デ</sup>アル。 ○傳<sup>發</sup> 號<sup>令</sup>チ<sup>ツ</sup>タ<sup>ヘ</sup>テ。

○卷<sup>ハ</sup>旗<sup>立</sup>タ<sup>ス</sup>。 ○裏<sup>馬</sup>銜<sup>ノ</sup> 聲<sup>ノ</sup>ヲ<sup>ス</sup>ル。 ○爲<sup>先</sup>鋒<sup>二</sup>人<sup>ノ</sup>。

賀<sup>康</sup>高<sup>水</sup>野<sup>勝</sup>成<sup>本</sup>多<sup>康</sup>重<sup>松</sup>平<sup>家</sup>信<sup>及</sup>比<sup>信</sup>。 ○斥<sup>兵</sup>ノ<sup>モ</sup>ノ<sup>ミ</sup>。 ○詞<sup>ノ</sup> 様<sup>子</sup>チ<sup>探</sup>リ。

軍<sup>四</sup>軍<sup>ナ</sup>リ。 ○稻<sup>葉</sup> 尾<sup>張</sup>。 ○東<sup>山</sup> 岳<sup>ナ</sup>リ。 ○傳<sup>餐</sup> 辨<sup>當</sup>チ<sup>食</sup>。

於<sup>コ</sup>秀<sup>政</sup>。 ○勝<sup>川</sup> 尾<sup>張</sup>。 ○吾<sup>勝</sup>矣<sup>リ</sup>ト<sup>謂</sup>フ<sup>ナ</sup>リ。 ○爲<sup>先</sup>鋒<sup>二</sup>人<sup>ノ</sup>。

無<sup>恙</sup>乎<sup>得</sup>タ<sup>リ</sup>ヤ<sup>ノ</sup>意<sup>ト</sup>。 ○所<sup>乘</sup> 所<sup>ノ</sup>義<sup>ト</sup>。 ○以<sup>君</sup>在<sup>云</sup>云<sup>武</sup>士<sup>死</sup>ス<sup>可</sup>ク<sup>シ</sup>テ<sup>死</sup>セ。

○亂<sup>次</sup> 隊<sup>伍</sup>チ<sup>ミ</sup>ダ。 ○麾<sup>下</sup> 大<sup>將</sup>ノ<sup>ハ</sup>。 ○勝<sup>機</sup> 敵<sup>ニ</sup>勝<sup>ツ</sup>可<sup>キ</sup>。

○幢<sup>主</sup> 旗<sup>奉</sup>行<sup>ナ</sup>リ。 ○擊<sup>テ</sup> ア<sup>グ</sup>ル<sup>義</sup>。 ○葵<sup>章</sup>白<sup>旗</sup> 三<sup>ツ</sup>ア<sup>チ</sup>ヒ<sup>ノ</sup>紋<sup>付</sup>。

○南<sup>山</sup>下<sup>ノ</sup> 成<sup>織</sup>ニ<sup>長</sup>湫<sup>東</sup>南<sup>ノ</sup>。 ○銃<sup>手</sup>ノ<sup>山</sup>腰<sup>ニ</sup>向<sup>ヒ</sup>シ<sup>兵</sup>。

○循<sup>左</sup>麓<sup>發</sup>銃<sup>ノ</sup> 村<sup>越</sup>直<sup>吉</sup>加<sup>々</sup>爪<sup>式</sup>部<sup>チ</sup>選<sup>ハ</sup>シ。 ○中<sup>丸</sup>而<sup>ノ</sup>。

○相<sup>挑</sup> 方<sup>雙</sup>。 ○山<sup>後</sup> 時<sup>是</sup>。

○萬<sup>全</sup> 無<sup>キ</sup>チ<sup>云</sup>フ。 ○坐<sup>褥</sup> 握<sup>籌</sup>。

○行<sup>危</sup>微<sup>幸</sup>。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

○不<sup>可</sup>抗<sup>フ</sup>コト。

シト。○二塔 秀政長可ナリ。○阿翁 ノシウトニ當ル。故ニ言フ。○胡床 シヤウ。○

加午 キヤト云フ義。○生兵 アラテノ兵。成績逸史等ニ。秀吉敏於軍機。開敗必來ノ語ア

妥當チ欠ク。○獨度以爲云云。獨度ノ一字削去ス可キニ似タリ。以爲ト重複。○疾發 至急

ニ似タリ。○追及 春日井ト云フ地コテ。○名不虛已 本多ノ武勇ノ名高キハ。兼テ聞キ

ナリ。○其騎 永井與。○逸馬 ニガシダ。トリ。○獨騎 一騎チ。○授騎共還 馬チ與ニ

シテ。二人打ナツ。○僵尸蔽野 ラ一面ニオホハレタリ。○隻騎 同シ。○偵人 敵ノ機

カグル。○具華實 一ロフタルチ云フ。○二魁 二人ノ巨魁。信。○龍泉寺 尾。○老兵 ノ

ナレタ。○悉 委細クハシ。○一隊兵 セト言ヒシナリシ。○狙勝 イツダモカタル様ニ

ナレタ。○平戸 尾。○何神也 イカニモ神速ナルコト。○樂田 尾。○重壕 二重ノ空

長 井伊ト戦ヒシハ。長湫ノ一戦ノミ。サレバ何ニ故ニ其手並ニチ熟知センヤ。此レ等ノ語。誤

詞タルヲ免カレサルニ似タリ。蓋シ東國ニテ井伊ノ赤備ヘト言ヒシコトチ。誇張ニセシ

ナリ。○赤鬼 赤夜又ト。○徒歸 功ナクシテムナシ。○二岩 加賀井、竹鼻ノ二城ナリ。

大垣 美。○長嶋 伊。○故將 大將ノ。○將略 大將ノ。○統内 管轄内。○蟹江 伊勢。

久間正勝。信雄ノ命チ受ケ。出テ、養生ノ誓チ築キ。前田與十郎チ留。○下市 前田 俱ニ伊勢。

前田城チ守リ。長種ノ部曲前田與平次、下市城チ守ル。下市、成績ニ下市。○大野 伊。○以舟

師 大野川ニ舟チ。○爲應 即チ前田與十郎ガ。○望見之 清洲ニ在ツテ望。○赴援 續

ニ。家忠日記、松葉紀事チ引キシニ據レバ。蟹江ノ役ハ。井伊直收ニ。之レチ援ハシ。家康親カラ

後繼チ爲シ。内藤家長、水野勝成等。奮戦功アリシナリ。本書ハ諸所ノ戦チ。一所ニ混シ記シタル

ニ似タリ。○記室 右筆ト稱スル。書キ役ナリ。諸書ニテハ。是レハ一益等ノ大野城チ攻ムル

○可字沮兵機 可ハ往ク可キナラント云フ意味ニモ聞ヘテ。直。○締衣 葛織ノカマ

追及 オヒツキ。○俱至蟹江云云 以上大野城チ援ヒシハ。事全ク済ミ。以下潮落チテ舟ノ

場所モ。全ク別ナルチ。本書。○江湖方落 ハシホノ時ニ出合ヒ。○膠 ク義。○我兵

岡部長盛ナリシ。是レモ嘉隆ノ舟ニシ。○得以身入城 諸書ニテハ。前田、下市場落城ノ

テ。一益チ破リシニ非ズ。事實相違セリ。○後ニ在リ。兵チ引キ入ルコト出来

○拔前田 城將前田長種、力屈シ降ヲ乞ヒ、城ヲ致シ  
出來シヲ、以自身入ルト言フナリ。

○叛將岡部長盛 長盛ハ彌二郎ト稱シ、二郎右衛門正綱ノ子ニシテ、後チ從五位下ニ叙シ、内膳  
正ニ任ゼリ。下市場ノ戰ニ九鬼嘉隆ヲ破リシ功臣ナリ。本書ニ以テ叛將ト爲

スハ、妄誕ノ甚ト謂フ可シ。叛將ハ上ニ  
注セシ通リ。前田長種ナリト知ル可シ。○山口重政云云走之 是レハ大野城ノ戰ヒニシ  
テ、重政ガ炬ヲ投シ、其兵船

二艘ヲ燒キシ事アリ。上文ノ家康信雄ノ往  
キ援ヒシ役、是レナリ。十八日以前ニ在リ。○攻下市城 是レハ十九日ノ事ニシテ、上ミノ舟  
在リ。本書叙事ノ混亂セル。未ダ此一段ホト甚シキ

モノアラズ。別ニ據リ所ノアリシヤ、怪ム可キナリ。○大澤 水タマリ。○蘆葦 ナリ。○  
蟠根 子ノカ

○可踐而行 根ノカラミシ所ヲフンダ行ク。泥中ニ足ヲ  
取リテ行ク義。○其守將 即チ前田與

○土山 シ。ヤマナリ。○叛將 即チ前田與  
○致 中ニ。ユミナチ

○遁去 ハ云フ。木造城ニ走レリ。或  
○桑名 神戸 伊勢。○岩倉 氷村。

○大野 奈良 河田 大野 三邑ニ皆ストアリ。○諸將 菅沼定利、保科正直、  
○南海兵

○驚擾 言ノ如クナレバ、大敗セザルヲ得ズ。秀吉ノ兵、豈ニ斯クマデニ小膽不規  
○不競 ケヌ意。○南海兵

○刻期 何月比ト、日限チ  
○乞降 富田知信、津田信勝ヲシテ、和ヲ請セシ

○面謁 矢田河原ニテ、秀吉、  
○慨然 ム貌。○十日 前云云

○不可爲矣 イカントモ、致シ方  
○問義如何耳 和陸スルガ、義ニ協

○數 計算  
○乃公 汝ガノキミト云フ義ニテ、臣

○松平定勝 本姓バ久松氏ナリ。松平氏  
○渠兄 渠ハ彼ト同シ。兄

○復之 其兄弟ニ  
○東條松平氏 名ハ宗

○忠吉 家康ノ第四子母ハ西郷氏。  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○信吉 家康ノ第五子。母ハ秋山  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○極艱楚 アラユル難儀ヲ爲シタルヲ云フ。石箱ニ幽セテ  
○復之 其兄弟ニ

○松平定勝 本姓バ久松氏ナリ。松平氏  
○渠兄 渠ハ彼ト同シ。兄

○忠吉 家康ノ第四子母ハ西郷氏。  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○信吉 家康ノ第五子。母ハ秋山  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○信吉 家康ノ第五子。母ハ秋山  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○信吉 家康ノ第五子。母ハ秋山  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○信吉 家康ノ第五子。母ハ秋山  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

○信吉 家康ノ第五子。母ハ秋山  
○嗣穴山氏 野史信吉傳ニ。武田氏ノ亡

ニ厭ス。並ニ幸ヲ得タリ。一ハ市河氏。一ハ秋山氏。秋山氏信吉ヲ生ム。信吉、武田氏ヲ冒シ。下總  
小金三萬石ニ封シ。武田氏ノ遺士ニ命シ。之レニ附屬ス。幼ニシテ母ヲ失フ。梅雪ノ室武田氏。信  
玄ノ女ナリ。憐レシ。而シテ之レヲ收養ストアリ。穴  
山氏ヲ嗣ギシ事ハ見ヘズ。恐ハ本誓ノ誤ナラン。○十二 諸番ニ十 一トアリ。○皆以其子從之  
重次ノ子仙千代。數正ノ子勝千代。仙千代  
後ヲ丹下ト稱シ。名ハ成重。飛彈守ト爲ル。○自越中來 雪ヲ冒シ來リシ時ノ事  
○倨傲  
ヲヤクニ。○阻絶 險阻ニシテ。カケハ  
○緩急 急難ヲ謂フ。緩  
○聲援 表向キ沙汰スル  
ヲ謂  
○吉良河 三  
○疔 疔ノ名  
○造枕 ノ病臥セルマクラ  
○治之 之レヲ治  
○母爲  
也 治療ナドノム事ハ  
○瀧 愁ヘモダ  
○自絶命 有ツ可キノナチ。自分カラ  
○先  
焉 御先キヘ死スルユ  
○何得此言 何故ヘニ。先キニ死スルナド  
○以瞑也 リテ。安心  
シテ。目ヲフサギ死スルコト  
○撫循 ナテヤスンシ。ヒキ  
○喪其首領 其カシラナル勝  
ガ。出來ルノシヤト云フ義。○撫循 ヒシタガヘル義。○喪其首領 一家ヲ。ウシナフテ  
義。○折腰 服スルヲ折ツテ。屈  
○情狀可羞 其模樣ガ。オカ目ニ見テモ。  
○疲癯 瘦  
ユハリタル。老  
○眷顧 目チカケ。ハ  
○沮喪不支 氣オクレシテ。フ  
○事可知矣 國家  
ノ成スニ足ラサル  
○彷徨 ウロツク義。○支吾 シ。マゴツク意ナリ。○從汝意 其方  
ハ。知レテアル。○

ニ從ヒ。療治チ  
爲サントノ意。○忍恥乎 人ニ笑ハル。恥辱チ忍ンデ。死スルコトヲ止  
○其醫 重次ヲ治療  
○宜灸 灸ウチ。スエル  
○灼艾 灸ウチ。スエタツ  
○疔潰而瘥 疔チ平癒シタ。  
○根  
來部 根來組  
○請還之 沼田ハ。本ト北條氏ノ領地ナリシヲ以テ。是度徳川  
○取償於  
内地 沼田ノ代ヘ地チ。我ガ領内ニ取ラシメタリ。蓋シ  
○不奉命 我ガ兵カチ以テ取リシ  
ト旨ヒ立テシナリ。蓋シ徳川氏ニ降リ。功ヲ立テシモ。上田ヨ  
○利川 信濃。成績ニ  
大ノ地ヲ賜ヒ。報賞ノ薄カリシニ。不平ヲ懷キ居タレバナリ。○二將  
鳥居元忠。平  
○筑摩川 信  
○八重原 同上。蓋シ將ニ九子城  
○手白塚 同上。九子城ヲ攻  
岩親吉ナリ。○

ヲ拒ギ止メン  
○暗於地理 客兵ナレバ。地ノ理ニ不  
○持重 落チ着キテ。輕ル  
○城下  
九子城ナリ。上田城ニ非  
○脱籠禽也 ガスト云フ者ナリ。○列壁 陣營チナラ  
○直  
政等 大須賀康高。松平康  
○連衡 支那戰國ノ時。地勢上ニテ。東西ノユニニ連結スルチ。連衡  
重ト三人ナリシ。○

南北ヲ連衡  
○尋盟 尋ハ燔ト通ズ。ア  
○從約 戰國ハ。南北ノマテニ盟約スルチ。從約ト謂  
ト爲セリ。○

ガルチ得ズ。是事ハ已ニ  
○恟恟 モノサハ  
○上國 フ。大坂チ指ス。○擣貳 擣摩シテ。フ  
前ヘニ論セシコトアリ。○

○篤疾 病氣ノ ○一訣 ヒトタヒワカ ○取其兒而還 成績ニ松榮紀事等ヲ引キ

○被恩榮 恩顧ヲ受ケテ ○飲 ム義 ○擊家 家族ヲ悉ク ○琴 妻子

○護其四門 岡崎城ノ四方ノ門ヲマモリ ○吉田河 行放鷹 途中ニテ

○張散樂 狂言ナドノ催シ ○忠世 北國ノオサヘノ為

○貞慶學兵應之 小笠原貞慶、深志ヲ以 ○摩子某 妾腹ノ子

○生死以之 子固守セントノ意ナリ ○得代 交代ノ將ヲ ○褒近正 數正ノ誘ニ應

○榜 スル ○羞縮 チナノメルチ云フ ○左右臂 南海北陸 即チ根來雜賀佐々

○嗾 ケル義 ○脅 ス義 ○内訌 數正ノ謀反セシ ○羽柴云云 創業記、松榮紀

○善處之 腹ヲ立テサセヌ様 ○入觀京師 京師ニ入り

○長湫之獲 池田信輝父子、森 ○甘心 スル義ナリ ○旗鼓相見 旗ヲテ

○次郎 秀康 ○羽柴秀康 巳ニ彼ノ養子トスレバ、羽柴秀康ナリ、實子ニ非

○墳墓之地 祖先以來墳墓 ○當敵之衝 敵ノ攻メ來ル ○手

○意色甚決 意氣顔色トモ、屹度打 ○成重 即チ仙千代ナリ

○在 其館候之 使者ノ旅館ニ逗留シテ ○吉良河

○手書 直筆ノ證 ○從憑 ス、メ ○可ニ一博擊 ヒトタヒ初ウチ撃ツ可キデア

○能就人條制 條ハ編絲繩ナリ、即チ鷹チク、ルヒモナリ、他人ニヒモテク、ヲ

○若未 若ハ汝ナリ、下ノ ○少容之 アレトノ意 ○終其說 意見ダケハ言ハ

○俊雄 オノスグ ○屈節 テノ意 ○安危之決

○不浚 テ無キ ○學趾 兵ヲ練リ出 ○上田

○嗚海 尾 ○起色 顔色ヲ變ヘテ ○嗚嗚 ク言フ貌 ○秀吉兵 家康ガ當時イカニ無

○關白ニ從ヘバ安ク、從ハザレバ危 ○不浚 テ無キ ○學趾 兵ヲ練リ出 ○上田

トナリシ敵國ノ主人ニシテ、殊ニ天子ノ關白トナリシ者チ、其使者ニ對シ、秀吉々々ト言フ道理

ナシ、必ス關白ト言ヒシナラン、凡ソ此等ノ處、皆チ後人ノ將家ニ阿諛シテ、故ヲニ其豐臣氏ニ屈

獨學日本外史講義 卷之二十一 七

伏セシニ非ズト云フ風ヲ。修飾セシナリ。曲筆厭フ可シ。司馬遷ハ。漢ノ臣ナリ。カレド項羽ヲ本紀ニ置キ。劉氏ノ前記トモ曰ハズ。鴻門ノ會等。漢楚ノ交接ニ於テ。更ラニ阿諛ノ痕跡ヲ見ズ。本書ハ史記ヲ學ビタリト言ヘバ。何故ヘニ其氣節ヲモ學バザリシヤ。惜ム可キナリ。○不<sup>ス</sup>過<sup>キ</sup>十<sup>萬</sup>。前日小牧ノ役。己ニ十二萬ナリシナ上ヘナレバ。必ラズ前役ヨリ減ズル筈ナシ。是等皆十憤激ノ語ニシテ。實チ失スト知ル可シ。○熟<sup>シ</sup>地<sup>ヲ</sup>。地理ヲ熟知セル土地。○邀<sup>ム</sup>險<sup>ヲ</sup>。險阻ノ地ニ。マ

○匍<sup>ク</sup>伏<sup>フ</sup>。ハラバヒスルヲ云フ。○沈<sup>ム</sup>思<sup>フ</sup>。篤トカン。○竟<sup>リ</sup>日<sup>ヲ</sup>。終日。○四<sup>ノ</sup>更<sup>ヲ</sup>。丑ノ刻。今ノ被<sup>レ</sup>衣<sup>ヲ</sup>。平服ヲキテノ意。○亡<sup>レ</sup>室<sup>ヲ</sup>。妻チウシナフタルヲ云フ。夫人關口氏ニ。○繼<sup>レ</sup>之<sup>ヲ</sup>。後妻ニツカリ。○寧<sup>ク</sup>。ナシテ。○大<sup>ノ</sup>廳<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ母チ。○改<sup>メ</sup>適<sup>ス</sup>。適ハニクト訓ス。○勉<sup>メ</sup>強<sup>ク</sup>聽<sup>ク</sup>命<sup>ヲ</sup>。リ。○寧<sup>ク</sup>。ナシテ。○大<sup>ノ</sup>廳<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ母チ。○改<sup>メ</sup>適<sup>ス</sup>。適ハニクト訓ス。○勉<sup>メ</sup>強<sup>ク</sup>聽<sup>ク</sup>命<sup>ヲ</sup>。

國史實錄ニ云フ。日向曰ク。無道ト雖也。○密<sup>ニ</sup>旨<sup>ヲ</sup>。秘密ノ内意。○彈<sup>ム</sup>正<sup>ノ</sup>少<sup>ノ</sup>弼<sup>ヲ</sup>。長政。○告<sup>ル</sup>故<sup>ヲ</sup>。子求ムル。嘉禮ヲ以テ來リシ。仔細ヲ申シ上ケル。○好<sup>ク</sup>意<sup>ヲ</sup>。御親切ノ思召。○三<sup>ノ</sup>事<sup>ヲ</sup>。三ヶ條ノ。○密<sup>ニ</sup>諭<sup>ス</sup>。秘密ノ。○駢<sup>ク</sup>。

シニク次ギノ早馬。○有<sup>リ</sup>出<sup>ル</sup>。出生ノ子ア。○故<sup>レ</sup>嗣<sup>子</sup>。秀忠チ。○蚤<sup>ク</sup>世<sup>ヲ</sup>。ハヤノ死。○暗<sup>ク</sup>合<sup>ス</sup>。兼テ打合セ、ズシテ。雙方ノ言ヒ。○怡<sup>シ</sup>然<sup>ト</sup>。ユロユ。○危<sup>キ</sup>疑<sup>ヲ</sup>。一家ノ合シテ、巳レニ敵セン。出<sup>テ</sup>シ。固<sup>ク</sup>條<sup>ガ</sup>。自然ニウキ合フ。○怡<sup>シ</sup>然<sup>ト</sup>。ユロユ。○危<sup>キ</sup>疑<sup>ヲ</sup>。一家ノ合シテ、巳レニ敵セン。○極<sup>ク</sup>歡<sup>ム</sup>。隔意ナク十分ニ。○鄂<sup>ク</sup>。城ノト。○示<sup>ス</sup>意<sup>ヲ</sup>。北條氏ト敵對ノ意ノ。○幣<sup>ヲ</sup>。ニイナフ。

○送<sup>ル</sup>女<sup>ヲ</sup>。朝日姫ヲ送ラセシ。長政與テ護シ。富田知信、伊東太郎左衛門、澁川益益、織田田氏、知信ノ。○醜<sup>キ</sup>証<sup>ヲ</sup>。穢文ヲ作り。アシサマ。○材<sup>臣</sup>。ル家來。○確<sup>ク</sup>得<sup>ル</sup>。得テノ義。○親<sup>シ</sup>書<sup>ヲ</sup>。自筆ノ。○六<sup>ノ</sup>輩<sup>ヲ</sup>。長政。及ヒ津田信勝、富田知信。○謂<sup>フ</sup>之<sup>ヲ</sup>何<sup>レ</sup>哉<sup>ヲ</sup>。以テ恥辱ト。○狹<sup>ク</sup>中<sup>ニ</sup>量<sup>ス</sup>。ノセマキヲ云フ。積康絶交書ニ。吾直。○中<sup>ニ</sup>納<sup>ル</sup>言<sup>ヲ</sup>。公卿補任等ニハ。權。○雖<sup>モ</sup>悔<sup>ム</sup>可<sup>ク</sup>追<sup>フ</sup>。後チニ性狹中。多<sup>ク</sup>所<sup>ヲ</sup>不<sup>レ</sup>堪<sup>ル</sup>トアルニ出ツ。○中<sup>ニ</sup>納<sup>ル</sup>言<sup>ヲ</sup>。公卿補任等ニハ。權。○雖<sup>モ</sup>悔<sup>ム</sup>可<sup>ク</sup>追<sup>フ</sup>。後チニモ。追<sup>ヒ</sup>カヘシハ。○不<sup>レ</sup>保<sup>ル</sup>。受合ヒハ出。○百<sup>ノ</sup>方<sup>ヲ</sup>。種々ト手チツ。○遲<sup>ク</sup>回<sup>ル</sup>。ラシク決斷チセヌ。出來ント云フ意。○不<sup>レ</sup>保<sup>ル</sup>。受合ヒハ出。○百<sup>ノ</sup>方<sup>ヲ</sup>。種々ト手チツ。○遲<sup>ク</sup>回<sup>ル</sup>。ラシク決斷チセヌ。○有<sup>リ</sup>止<sup>ム</sup>乎<sup>ヲ</sup>。ハチシノナ。○生<sup>ク</sup>靈<sup>ヲ</sup>。人民チ指。○不<sup>レ</sup>亦<sup>ク</sup>多<sup>ク</sup>乎<sup>ヲ</sup>。ナントマ。十分ナル功。

○監<sup>ス</sup>國<sup>ヲ</sup>。國政ヲ監臨スル義。君行キ太子守。○迎<sup>ム</sup>夫人<sup>ヲ</sup>見<sup>ル</sup>之<sup>ヲ</sup>。當時雖レモ大廳チ知ル者無。○因<sup>リ</sup>。夫人チ濱松ヨリ迎ヘ來。○信<sup>ヲ</sup>矣<sup>ヲ</sup>。實母ニ相違。○橋<sup>ノ</sup>梁<sup>ヲ</sup>。川々ノハシ。○屈<sup>ク</sup>節<sup>ヲ</sup>。腰チト云フ。○辱<sup>レ</sup>從<sup>フ</sup>。トモチスル義。後。○抗<sup>シ</sup>而<sup>テ</sup>行<sup>ク</sup>。寡兵チ以テ。大軍ト。○一<sup>ノ</sup>騎<sup>ヲ</sup>當<sup>テ</sup>千<sup>人</sup>。一人ニ敵。對スル義。李陵ノ。○自<sup>ラ</sup>嘗<sup>ム</sup>スル<sup>ヲ</sup>。オクリモノヲ云フ。白雲茶盞、正宗。○起<sup>シ</sup>微<sup>賤</sup>。身分ノイヤシキモノ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。○聚<sup>ル</sup>樂<sup>ヲ</sup>。秀吉ノ邸ノ名。○降<sup>ル</sup>我<sup>ヲ</sup>。ワレニヘリ。○視<sup>ル</sup>諸<sup>侯</sup>。諸大名ニ。

示メシテ。其模範。○延見如儀 延キ入レテ面見スルコト。表テ向キノ儀式ト爲セムトノ意。○拜跪甚恭 下坐ニ就キ拜シ。又ハヒザマツキ。至ツテ敬

○改容 德川ノ屈服セシヲ見テ。○役卒 儀ノ足。○其館外ノ外ヲ云フ。○侍婢 大廳ニハソノベル

○遲 〇有短長 〇欲縱火 積ム所ノ薪ニ。火ヲハ

○秀吉至 川越本此ノ下ニ楮袍

○祖 租道ト云ヒテ。錢別。○諸侯皆在 本ニ

○憂悸 〇祖 租道ト云ヒテ。錢別。○諸侯皆在 本ニ

○我增就國吾欲祖之也 秀長目中納言中納言請得秀吉所穿袍

○不使公復戎衣 兵馬ノ勇ニ任

○蓋使秀長豫

○諸侯相告悚然 當日ノ模様

○湯沐邑 〇湯沐邑 〇湯沐邑

○不便跪起 〇不便跪起

○朝爵

○結納 〇結納 〇結納

○創夷 〇創夷 〇創夷

○任衣冠 〇任衣冠 〇任衣冠

○接伴 〇接伴 〇接伴

○人面而

○七狀 〇七狀 〇七狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

○狀 〇狀 〇狀

○居

○怨 〇怨 〇怨

○立 〇立 〇立

駿府一府ト定メシナリ。○幼爲僧ト爲リ。三河中島永安寺ニ居ル。○皆死事 父好重。松

隸シ。永祿四年。中島城ヲ攻メ。吉良義昭ト戦ヒ。敗死ス。弟定重。松平

家忠ニ屬ス。天正中。家康高天神ヲ攻メ。定重進ミ壁ニ逼リ。戦死ス。○忠重卒 好景ニ屬シ。亦

病死セシ者ノ如シ。イカバニヤ。○蓄髮 遠俗スルナリ。俗字ヲ甚平ト稱シ。○識拔 其人

ルコトナ。ミトメテ。メ。○晒 オカシク思ヒ。微笑セシナリ。○慶事 御取立ヲニナリ

キ擧グ用ヒタルチ云フ。○謂何 拜命シテモ宜シキヤ。イ。○公事 御上ミノ表テ立ナ

朝服 類ナリ。○敗事 ヤリソコナフ義。○苞苴 進物ノツ、ミタルチ云フ。曲禮

トアル。○拜命 奉行ノ御沙汰チ。○穿袴而出 被ニ朝服ト言ヘバ。袴ヲ着セシハ知レタ

ニ出ツ。○何背誓也 我ガ爲ス所ニ 於テ。一モ賭セ

ルコトナリ。袴ハ朝服ノ一ナラズヤ。サレバ此一 句ハ重複ニ似タリ。穿袴ノ二字。削去是ト爲ス。○何背誓也 於テ。一モ賭セ

スト誓ヒナガラ。衣粧ニ就テ。之レヲ正サン。○訟獄平允 イキ等ノ無ク。公平ニシテ道理ニア

トセシ故ヘ。誓ニ背クト云ヒ。怒リシナリ。○二城 ナリ。○岩石城 豊前筑前ノ。○受賞 金銀短刀。羊皮。○大納言 創業

公卿補任等ニ。權。○兩職 左近衛大將。○我諸臣云云 兵部少輔并伊直政。兵部大輔大澤基

大納言ニ作ル。○要 壓制シテ誓詞。○班 列ル。○清華 寺。久我。轉法輪。德大寺。菊亭ノ七

後乘 ナヘ。○不庭 入朝セザルチ謂。○遷延 彼是レト事ニ託シテ。○不加於意 別

家ナリ。貴キ五。○因我 德川氏チ。中人ニ。○致仕 隱居ス。○優旨 特別ノ篤キ

心ニカ。○中泉 江。○清見寺 駿。○總藏 昌恒。○孤 幼ニシテ父無キ稱。○天目山之難 武

勝頼ノ滅。○胤 血ス。○一口護身刀 云フ義。股肱ノ臣ニ比シ言フ。○拉 義。○英氣

亡セシ時。○習騎 馬ニ騎ルケイ。○牙騎 ノ騎士。○不問 打棄テ。トガ。○諸豪 見

スグレマ。○請得云云 其臣多賀谷安義チシテ。○我侵地沼田 沼田ハ。眞田昌幸ノ侵取

佐竹等。モロ。○不憚 ナリ。○姻戚 氏直ノ妻ハ。家康ノ女ナリ。○假之 之レ

ニ屬ス。故ニ我侵 地ト書セシナリ。○三使 二人トセリ。此レノ誤ナリ。○使人云云 田津田ノ二使ニ副ト

目ニ見逃ガシ澤。○内地 德川氏所領。○順逆 入朝スルハ順。朝

シテ。沼田ニ至リ。昌幸チ諭シタリ。上ミ。○内信濃ノ地。○順逆 入朝スルハ順。朝

ノ三使ハ。是レヨリ誤リ記シタルナラン。○内地 内信濃ノ地。○順逆 入朝スルハ順。朝

シテ。沼田ニ至リ。昌幸チ諭シタリ。上ミ。○内地 内信濃ノ地。○順逆 入朝スルハ順。朝

ノ三使ハ。是レヨリ誤リ記シタルナラン。○内地 内信濃ノ地。○順逆 入朝スルハ順。朝

シテ。沼田ニ至リ。昌幸チ諭シタリ。上ミ。○内地 内信濃ノ地。○順逆 入朝スルハ順。朝

ノ三使ハ。是レヨリ誤リ記シタルナラン。○内地 内信濃ノ地。○順逆 入朝スルハ順。朝



○守將 北條氏邦之ヲ守ル。其部 將猪股能登 傍地ヲ侵掠ス。○傍地 那胡桃 城ナリ。○東伐 北條征伐 ヲ謂フ。○横行 北條 征伐ノ

マハ義。○卒于京師 年四十八。東福寺ニ 葬リ。南明院ト號ス。○東事 關東征伐ノ 事柄ナリ。○佳兒也 北條氏ノ 子也。云フ義。

世子時ニ ○淺野氏 家忠日記、秀吉譜ニハ。大廳トア リ。本書ハ松榮紀事ニ從ヒシナリ。○金飾刀 ヲカチツクリノ刀。金龍

ノ形ニシテ、長サ一尺餘、幅一尺餘、重サ一斤餘、云フ。○野様 ト云フ義。○京様 上方ノ 義。○朴實 ノアルチ云フ。○擬實也 ヒトシテ、心

持チ。○秀吉不留 是時ニ至リ、最モ其名ヲ指斥スル答ナシ。必ラズ ナリ。○關白ト言ヒシナラン。秀吉ノ字。關白ニ改ム可シ。○欲借我諸城也 實意ヲ示シ置キテ、海道ノ諸城ヲ借テ

シト云フ。○海道諸城 東海道參河以 東ノ諸城ナリ。○浮梁 舟ヲ作ル所ノ 梁ト云フ。○其言 我ガ諸城ヲ借ラント欲ス

。○誓師而發 軍令十三ヶ條ヲ下シテ、兵 ヲ發ス。○後者病焉 病ヲ云フ。○耳語 ミ、ニ、ロチ寄セ

。○河漲 矢矧川ガ出水。○後者病焉 病ヲ云フ。○耳語 ミ、ニ、ロチ寄セ

。○面首 男アリノ好。○慧巧 ヲサカシク。立チマハ

。○來會 長濱ヨリ。駿府ニ來。○其次 順序ノ座席。○咄 怪ミ叱スル聲。俗ニ

。○大怪事 俗ニケシカラ

。○豈有云云 重次忠直ハ即チ忠直。然レモ野野禮節ヲ知ラズ。當時若シ秀吉ノ

ル可ラズ。然レモ則チ田舎漢ノ罪、死ニ容レズ。且ツ家康ノ城ヲ借スハ、秀吉未ダ至ラザル前ニ決

セリ。重次命ヲ受ケテ之ヲ掃除セシナラズヤ。以テ不可ト爲セバ、何ソ其時ヲ以テ切腹セザル。

而シテ稠人廣坐中ニ於テ、故ヲニ是ト大怪事ヲ爲

シ。以テ忠直ノ名ヲ賣ル。君子ハ取ラザルナリ。○噫 笑ナリ。アガ、

名ノ世ニ著ハレザル。○愛慾 ノチカケル。○頑縦 カタイガテ。キ

ヲルツナ。○可以想其平時矣 其平日人無キ處ナドニテ、一層

ヲ言フ義。○沼津 駿河ノ 義。○精兵 善ク訓練セ

其軍 前ノ兵ヲ留メ。○沼津 駿河ノ 義。○精兵 善ク訓練セ

畏我焉爾 戦ハザルハ、我レヲ畏レテ、得タ、カハ

十遍手合セシテ、九

遍マテハ勝ナタリ。○二城 韮山山中

勾早川 相模ニ

鷹巢足柄新莊 相模ニ

○攻二城 即チ韮山山中ヲ攻メシナリ。下次ニ山中ヲ攻ムル事ヲ載セテ、

○拔山中 北條

守將

織田信雄等ノ韮山ヲ攻ムル事ヲ載セザルハ、敘事ノ失體ニ近シ。

○其軍 沼津ノ軍

氏勝。逃カレ甘。○守將 遠山。○湯本 相。○戰袍 陣羽織。○三領 榮紀事ニ據ル。○松

ノ一ハ。中村一氏ニ賜ヒシトアリ。三領ト數テ明記セシカラハ。是非其處置チ記。○且使云云 康

ニ命ツテ。其一領ヲ以テ。手カ。○學 スル意。○召世子 軍容チ見セシムル爲メ。○名曰

秀忠 成績ニ源流綜貫チ引キ。名チ賜ヒ。○結納 リイレル意。○宮城野 竹浦 相模。

○城中 小田原城中ナリ。文稍。○警怖 ル。氣チ失ヒ。オソ。○衢路 即チ小田原へ。○鳥居元

忠 平岩親吉 別ニ森山盛彦ガ。康國ト俱ニセシトアリ。事實少シク與ナリ。○前田 家

○上杉氏 勝 諸城 上野ノ松枝、笑輪、武藏。○淺野 政長 木村氏 莖重。成績ニ。○前

三將 松平、島居、○上總下總 下總ノ佐倉、土氣、東金。上。○岩築 北條記ニ。岩槻ニ作ル。

定メ記スベシ。○總社 上野。成績ニ一本徳川記抄チ引キ。長根城ニ作ル。注ニ云フ。家忠

爲 降將所 狀 城將小林左馬九郎ヲ降ル。康國出テ、之レ見ル。忽。○康貞手 斬云云 貞

ガ手カラ左馬九郎ヲ斬リ。兄ノ驛チ殺シ。且ツ敵ノ從兵。○蒲生氏 郷 甘索 相模。或ハ甘

ヲ拒ギ。斬リ殺シタルナリ。康貞一ニ康勝ニ作ル。○蒲生氏 郷 甘索 相模。或ハ甘

○江戸 武 兵部 大輔。○丹波 丹波守。例ノ通り。句調チ善クセント。○信尹 昌幸ノ

○處守 留守居。○遣兵 戸田忠次。○館林野 忍城 武藏。城主成田長氏小田原ニ在

○將論 降之 家忠日記等ニ據レバ。城兵是時長政ノ説諭ニ從ヒ。降チ乞ヒシナリ。故ニ三成

削シ。○分陣 陣ハ城ノヒンガキナリ。攻メ。○攻之 是ノ下ニ少弱從之。○怒而戰 約東

セシ後チ。之レチ攻メシ故チ。怒ツテ戰ヒシナリ。○引水灌之 利根荒河ノ二流チ引キ。

○血亦 血チ殺シ。武威チ示メスチ謂フ。○屠之 城中ノ人チミナエロシ。○降之 説キ論

カセテ。恩徳。○竊言日 名論トセリ。成程名論ハ名論ニ相違ナキモ。主人ノ過チアルチ知レ

バ。何ツ顔チ犯シテ直言極諫セザル。是レ臣子ノ職分ナリ。然ルニ君前ニハ。○豈主天下者

言乎 人チ殺スチ嗜ムハ。殘忍ノ甚シキモノニテ。天下。○八王子 武 築地 小田原

鑿地道 地中ニ穴チホリ。道チツク。○別堡 出丸。○崩陷 地道ガツブレシ故チ。其上ノ

ニオチ。○炸 ガサケメ。○捷聞 シラセ。○西將數人 蒲生氏郷、蜂須賀家政、福島正

則 長岡忠興、中川秀政、森忠

獨學 日本外紀 卷之二十一

政、生駒一正、戸田 〇逗橋 骨ヲ折ラズ。ゲツク。 〇奪其門 城門ヲ攻メ取

民部少輔等アリ。 〇是時親戚ノ嫌ヲ避ケテ。羽柴勝雅ニ就キ降ヲ乞ハセシ事アリ。一ニ句ニテモ、其事ヲ

城 記入シヨシ。然ラザレバ、全ク徳川氏ノ取次ギシ如ク聞ヘテ、事狀ヲ悉カイルナリ。 〇井

伊直 〇本多 勝 〇榊原 政 〇西將 二人 且元ナリシ。 〇抄掠 人民ノ財物ヲ。カ

〇叛將 氏ニ降リシナリ。 〇四使 シハ、歸リナリ。豊臣記ニ。使者四輩トセシハ。此ト同シ。諸

説ヲ載セ置キタ。 〇榊原康政 ニ據リテ、豊臣記ノ解ニ。石川數正ト康政ト二人ト記シ置キシハ。偶然野史

川ノ軍ニ從フ筈ナシ。野史ハ疎漏ニ。往々前後矛盾スル。 〇莅 自殺ノ席ニ 立テ合フ義。 〇朝宿邑

其邑入ヲ以テ。京師ニ朝シ。 〇海道地云 成續ニ。石部、關地蔵、四日市、白須賀、米野、中泉、

宿泊スルノ資ニ當ツルナリ。 〇海道地云 消見寺等ノ地一千石。島田ノ二千石ヲ以テ。遊獵

地ト爲ストアリ。萬石 〇逼京畿 京師畿内ノ地ニ近カ。 〇固結日久 數代相傳ヘシ國故ヘ。

時日久シクツツバシク云フ。 〇以八國之名厭其心 五國ニ代フルニ。八國ヲ以テスレバ。

其心ヲ満足セ。 〇里見氏 安房守 〇宇都宮氏 三郎左衛門 〇結城 左衛門 〇佐野 修理

〇皆川 山城守 〇割據方隅 一地方ノスミクチ。サキ 〇潜伏 フス。 〇兵燹 火

ニテ。ヤカル 〇趣 催促ス 〇割予云云 駿河ヲ中村一氏ニ。甲斐ヲ加藤光泰ニ。參河ヲ池田輝

正。仙石秀久ニ予ヘタリ。 〇放織田信雄 徳川氏ノ故地ヲ予ヘシニ。信雄ノ受ケザリ。

勢 北伊勢ノ五 〇拒塞 セギフサゲ。 〇葦名氏 日向守 〇故國 シ所ノ國。 〇伊

宗 〇鎮壓 オサヘツ 〇快快 樂マザ 〇我宗故國 新田氏嘗テ上野ニ興リ。徳川

用武之地 武事ヲ用ユルニ便ナルノ地ト稱ス。即チ八州 〇觀天下之變 天下ノ形勢ノ

ガメミ 〇相地 土地ノ形狀ヲ 〇非小田原則鎌倉也 北條氏五世則據ノ小田原ヲナク

ヲ以テスベシ 〇與秀吉議 其實秀吉ノ差圖ヲ受ケシナリ。之レ 〇振旅 兵隊ヲシテ

字。 〇忍石 一萬 〇其私部 二萬石。其ハ上ニ武藏ヲ承ケ言フ。下文其ノ 〇岩築石 二萬

〇東方石 一萬 〇松山石 一萬 〇羽生石 一萬 〇河越石 二萬 〇本莊石 一萬 〇八幡山石 一萬

〇小田原 四萬石。後チニ 〇甘索石 一萬 〇韭山石 一萬 〇矢造 四萬石。成續ニ。矢

河石 二萬 〇關宿石 二萬 〇相馬石 一萬 〇蘆戸石 一萬 〇緒瀧 十萬石。成續ニ。 〇久留里

綱目日本外史

三萬石。○鳴渡石。二萬石。○佐貫石。二萬石。○碓氷石。三萬石。○廣橋石。五萬石。○大胡石。二萬石。成統二年。

○吉井石。二萬石。○阿布石。一萬石。阿布或ハ安生ニ作ル。○那波石。一萬石。或ハ名和ニ作ル。○宮崎石。二萬石。奥平系圖、關原合戦誌ニ小幡

松榮紀事、並ニ本書ト同シ。○藤岡石。三萬石。○白井石。二萬石。○館林石。十萬石。○箕輪石。十二萬石。後ナ高橋

ニ徒。○皆食石。十萬石。直政ハ十二萬石ナリシ。○食四萬石。何故ヘニ違算セシヤ。○其餘有差

石チ松平近正ニ。其新川桐原三千石チ稻垣長茂ニ。其市原邑五千石チ阿部正勝ニ。其奈化川邑五千

石チ西尾吉次ニ。上總袋原五千石チ大久保忠佐ニ。其五井五千石チ松平家信ニ。其勝浦三千石

チ植村泰忠ニ。其山口邑及ヒ武藏稻毛峯邑二千石チ坪内利定ニ。下總佐倉ノ地五千石チ本多康俊

ニ。五千石チ山本成行ニ。其生實五千石チ西郷家員ニ。其小布三千石チ松平定勝ニ。其飯沼五千石

チ松平伊昌ニ。相模武藏下總ノ數邑五千石チ高木清秀ニ。武藏深谷城一萬石チ松平康直ニ。其河

越ノ屬邑五千石チ酒井忠世ニ。三千石チ酒井忠利ニ。其石戸邑五千石チ牧野康成ニ。其柄間邑五

千石チ内藤正成ニ。其久志羅井邑五千石チ戸田一西ニ。其貝賀尾邑五千石チ三宅康貞ニ。其内野

五千石チ其弟正貞ニ。其富浦五千石チ柴田康忠ニ。其禮羽三千石チ設樂貞光ニ。其奈良之和經川

一萬二千石チ諏訪頼忠ニ。其某邑五千石チ永井直勝ニ。五千石チ神谷彌五郎ニ。一千石チ高木正

次ニ。其比企郡ノ地三千石チ渡邊守綱ニ。相模中郡五千石チ青山忠成ニ。其當麻五千石チ

内藤清成ニ。伊豆梅郷五千石チ石川家成ニ。其下田五千石チ戸田忠次ニ。賜フノ類ナリ。○領

之。即十隊長ト爲。○更番。五隊ガカハリマン。○北條。氏勝。下總ノ岩留。○三浦。監物。下

ノ地ニテ。○木曾。義就。己ニ上文ニ在リ。模出創ル可シ。○保科。正光。下總ノ。○久能。宗

一萬石。○岡部。長盛。上總下總ノ。○遠近輕重。路ガ遠フケレバ。費用重ク。近

下總ノ某邑。○引キ移リニ付。○忘其遷徙之勞。遠國ヘ引キウツル勞チ。ウチウツレ

用。○道路ノ費用。○神速。スバヤ。○控。引ナ。○海灣。海水ノ曲リ込ミタル

參河、遠江、駿河、甲斐、信濃、州。○武藏野。往時未ダ開墾セ

リ。○上杉氏。正定。○道灌。名ハ持資。剃髮シテ道灌ト號ス。

○平衍。マイラカニシ。○沮洳。水ダマリニナリテ。○叢生。シゲリテ。○隘陋。セマクシ

ナキ。○階。城ノアガリ。○不可以視外賓。餘ノ見苦シキヨリシテ。他國ヨリ來リシ賓客

シ。○婦女之見。オノナコトモノ如キ見職ト云フ。○土木之事。城郭ノ普請。○徐

議之耳。ユルノト。之レヲハカル。○地勢。土地ノ高低廣狹等ノ形勢。○區處。ソノノククハリ付

大番士。慶下ノ士。○銚高。土地ノ高キ處チ。○填卑。卑キ、處ヘハ。土チウ

渠。ホリチホリテ。○疏淤。ドロチカラヘテ。水ノ。○葦泥土。ドロツチナドチ。車ニテハ

シ等ニ ○起街市 商人ナドノ居住ス可キ。 ○運遭 兵糧等ヲ舟車ニ載

用ニ。 ○當被之者 其忠勇ニシテ之レ ○源九郎從僕耳 九郎判官源義經

ヲツラハシクセ。 ○當被之者 其忠勇ニシテ之レ ○源九郎從僕耳 九郎判官源義經

ナカラキナク。 ○當被之者 其忠勇ニシテ之レ ○源九郎從僕耳 九郎判官源義經

中間小者ト云フ義。君臣共ニ之レヲ輕蔑セシ辭ナリ。カレト義經モ源氏ノ支族ナレハ。徳川氏

モ亦タ新田氏ノ支族ナリ。豈ニ逕庭アラフヤ。忠信固ヨリ僕隸ニ非ズ。兄弟俱ニ其事フル所ニ忠

ニシテ。艱苦ヲ辭セズ。戰ニ臨ンテ。地ノ險易ヲ擇ブ如キ。未練ナル兄弟ヲ持タズ。豈ニ之

レヲ輕蔑スルヲ得ンヤ。後人皆十忠政ノ言ヲ以テ。快語ト爲セドモ。君子ハ取ラサルナリ。 ○爲

榮ト爲ス意。 ○銜本多重次無禮云云 銜ハ心中ニ根ニモツナク。成績ニ一本徳川記抄

以テ使ト爲シ。駿府ノ城代本多重次ヲ諭シ。府城ニ一宿セントス。重次命ヲ奉セズ。且ツ慢言アリ。

秀吉己ムヲ得ズシテ。野外ニ次ル。家康之レヲ聞キ大ヒニ驚キ。本多忠勝、礪原康政ヲ。行營ニ遣

ハシ。重次ノ無禮ヲ陳謝ス。秀吉之レヲ聞キ。反ツテ之レヲ稱賞シ曰ク。田舎翁剛直ノ士。言フ所

其理無キニ非ズ。吾家康ニ於テ。毫モ挾ム所無シ。作左ノ如キ。能ク留寄ノ任ニ堪ユト謂フ可シ

ト。然レモ家康猶ヲ秀吉ヲ憚リ。重次ノ職ヲ奪ヒ云々トアリ。秀吉ノ洪量ナル。豈ニ一ノ作左位ニ

介々センヤ。是レ其實ヲ得ルニ似タリ。本書及ヒ諸書ノ記スル所ノ如キハ。蓋シ後人ノ故意ニ秀

吉ヲ貶抑シ。以テ徳川 ○小原 家忠日記ニハ。井戸郷ニ作り。松榮紀事ニ

氏ニ阿諛スルナラン。 ○親出 家康ノ自身ニ 出軍スル。 ○襲封 結城晴朝ガ隱居セシニ付。

崎ノ賊ヲ。政宗ガ教唆セシ事。 ○信吉 武田氏ヲ嗣ギシ人。 ○八國將士 上文ニ實ハ六國ナリ

臣記ニ詳カナリ。參看ス可シ。 ○忠吉 即十束條氏。 ○信吉 武田氏ヲ嗣ギシ人。 ○八國將士

實ニテハ八國ニ非ズ。サレバ關東 ○岩築 武 天子 後陽成 御香 御製ノ薫

將士位ニ改メル方至當ナラン。 ○節度 スル義。 ○岩築 武 天子 後陽成 御香 御製ノ薫

禁裏御所ノオ ○陸奥復亂 九戸政實反シ。南部信 ○節度 スル義。 ○岩築 武 天子 後陽成

ニハナク。 ○陸奥復亂 九戸政實反シ。南部信 ○節度 スル義。 ○岩築 武 天子 後陽成

イエガヲト云フ義。義光姓ハ源氏。足利氏ノ族ナリ。尾張守泰氏六世ノ孫兼頼。修理大夫ニ任ジ。

出羽按察使ニ補シ。延文元年。國ニ就キ。始メテ最上郡山形城ニ入り。後十因テ最上氏ヲ稱ス。義

光ハ兼頼十一 ○德 有リ難ク ○次子 助。馬 ○家親 初メ義親ト曰ヒシガ。是

世ノ裔ナリ。 ○德 有リ難ク ○次子 助。馬 ○家親 初メ義親ト曰ヒシガ。是

侍從 秀忠ツキノ家來 ○將休息於無爲 今マダハ亂世ナリシモ。是レヨリハ太平トナ

リトノ意。 ○汰修 エル義。 ○喜事 何ニカ珍敷キ事 爲スチユノム。 ○輕銳 イキノツヨキ義。

○承旨 ニ。ユヒル意。 ○愛兒 最愛ノ兒 子鶴松丸 ○自遣 スル義。 ○德憑 スル義。 ○太閤

豐臣記ニ 詳カナリ。 ○行營 大將ノ 出張所。 ○驢然 ガシキ貌。 ○匡拂 ト同シ。補ナリ。孟子法家拂士ノ

拂。是レ ○前職 中將ノ職 務ナリ。 ○文祿 後陽成帝 年號。 ○處守 江戸ノ留守

宣 ○南部直 ○最上 義 肥前 名護屋 外孫 ミシ子ヲ外孫ト謂フ。 ○修拓 繕

シ。ヒロ ○藤原肅 肅ハ名。字ハ欽夫。惺窩ト號ス。中納言定家十二世ノ孫。參議冷泉爲純ノ子。

ケル義。 ○藤原肅 世々播磨細川莊ヲ食ム。幼ニシテ穎悟。七八歳。僧吳東明ニ就キ。心經法華

經等ヲ學ブ。目ヲ過ケル。誦ヲ成ス。呼ビ神童ト曰フ。度シ僧ト爲リ。蘇首座ト號ス。後チ群書ヲ博覽シ。佛敎ノ非ヲ悟リ。儒學ニ志ス。京師ニ住シ。心ヲ六經ニ潛メ。南京買船ノ四書五經程朱說ヲ廣シ來ルニ遇ヒ。之ヲ讀ヒ。研窮シ曰ク。道ニ此ニ。○**忤秀吉**。秀吉ハ。秀次ノ誤ナリ。天正明ナル矣ト。遂ニ我邦程朱性理學ノ祖ト爲ルト云フ。○**客之**。賓客ノ禮ヲ以テ。之ヲ待遇スル。○**幕中**。陣營中。○**殘滅**。城邑ヲ滅ス。○**土功**。城普請。○**告竣**。落成セシコト。○**不堪其任**。諸將ヲ統御スルノ技倆無キヲ謂フ。○**元帥**。總大將。○**新田公**。德川氏ノ本姓ナリ。サレバ前田利家ト呼ビ棄テニ致シ。德川氏ト爲リ。○**氏前田氏ト**。同様に稱セシニ相違ナシ。是レモ後人ノ德川氏ニ諷ル。○**功不成**。外征ノ功ノ成ルコトナラズ。○**有內變**。日本國內ニ變亂。○**宣言**。一説ニ申シ渡ス。○**極諫**。手キヒシクノイサメルコト。○**肥後寇起**。梅北宮内左衛門ノ佐。○**乃悟**。長政ノ謀メノ理ニ中リシニ合點シタ。○**左京大夫**。○**其**。○**臣助ナリ**。○**偽造金幣**。世上通用ノ貨幣ノニセチニシテハヘル。○**其家**。○**白**。長政ニハ關係ナ

ツキリカ。○**日益親善**。作者ノ最モ注意シテ。淺野氏ノ德川氏ニ交誼ノ厚カリシヲ表セシナセル。○**日**。○**他ノ強將ニ**。交意ヲ篤クシ。其子ニ至リ。遂ニ之ニ降リ。以テ其主ヲ反攻ス。豈ニ之ヲ表出スルニ堪ヤ。○**將吏**。小西行長。石。○**罔蔽**。アヤムル。○**曲成**。非ヲ理ニマケテ。其。○**聘**。禮ヲ以テ迎。○**待以賓禮**。アイシラフニ。客分ノツカイニセ。○**講論**。古道ヲ講習討論スル。是レ德川氏ノ。○**城伏見**。秀頼ニ大阪ヲ讓ル意シナリ。○**課**。費用ヲ付ケル。○**貸借錢出役**。屬ヒ入レノ貸錢ヲ貸シ付ケ。夫役ヲ出ダシ。○**課**。費用ヲ付ケル。○**貸借錢出役**。屬ヒ入レノ貸錢ヲ貸シ付ケ。夫役ヲ出ダシ。○**往**。長湫ノ役。○**池田**。輝。○**爾時**。彼ノ時ト。○**對壘**。小牧ニテ。陣營ヲ行キシナリ。○**拊掌**。手ヲウツテ。○**解兵**。敵ヲツリ出ス。○**悅服**。雙方ノ兵隊ニタケタレ。○**斯命**。上ノ五位ニ叙シ。右。○**寡**。氏直滅亡ノ後。離縁シ。○**釋其憾**。父ヲ殺サレシウヲミチ。近大夫ト爲ス。○**寡**。氏直滅亡ノ後。離縁シ。○**釋其憾**。父ヲ殺サレシウヲミチ。○**少將**。結城秀。○**大饗秀吉**。享禮甚ダ盛。家康白金三萬兩。雜彩衣服一百領。綿一千。刀。長馬一疋。奉。秀忠白金三千兩。衣服五十領。越後布一百疋。長馬一疋。奉。淫虐。淫亂。秀康衣服三十領。奉。將士ニ至ルマテ。衣服ヲ獻スル。各々差アリシト云フ。○**淫虐**。淫亂。

テ、暴虐。○構之ニ路ノトスル意。○來誘方ニセントスルヲ云フ。○誓而遣之

謀反ノ意ハ無キト。誓詞。○板我兵。板ハ引ナリ。徳川ノ。○五更。寅ノ刻。今ノ。○關白。秀

時ニ關。○朝餐。シナリ。○未起。アサチシテ。○問道。竹田街。○大路。伏見街道ヲ指

テ危險ナルヨリシテ。○大悔。手オクレシテ。トリニガシ。○兼程。一日ニ二日路。○極

慘酷。妻兒三十餘人マデ殺シ。ムエヲラシク。手。○連累。ニスル義。○反黨。謀反人

○使人往伏見。使者ハ茂庭。○營救。トリナシテ。○而主。其方ノ主人ト云フ義。而ハ汝

○怯懦。ヒケフニシテ。ナマケ。○不足與言也。ハナシニナラ。○餒於魚。餓。於偽切

グニへ行キテ。魚ノエシキ。○餓於狗乎。尸チ此地ニカラシテ。狗ノエシキトナラントスルカ

トナラントスルカトノ意。○餓於狗乎。尸チ此地ニカラシテ。狗ノエシキトナラントスルカ

起シ。討死ニス。○必居一焉。二個條ノ中、屹皮其一ツニ決斷セヨトノ意。蓋シ其君子要スルノ

リ。是レモ伊達氏維持ノ全功チ。徳川氏。○授對。返答申上ケル辭チ。○衷甲而諫。キエミ

ニ歸セントスル。後人ノ附會ニ非ルカ。○便服。平服チ云フ。ツサト自分ノ。群。○僕從。家來共ト云フ義。是レ

カハギ立ツタ。蓋シ家。○便服。平服チ云フ。ツサト自分ノ。群。○僕從。家來共ト云フ義。是レ

康ノ激成スル所ナリ。○便服。平服チ云フ。ツサト自分ノ。群。○僕從。家來共ト云フ義。是レ

知ル。○累世之國。先祖以來、累代居。○漂泊客上。一ヒノ土地ニ。サマヨフト云フ義。○怯

夫。ヒケフモノ。○在目下者。目前此ノ京師ノ地ニ在ル。僅カノ。○不審其爲何狀。

イカ様ノ大變チ。シデカサヤラ。ツカラント云フ義。言外ニ定メテ。○申雪。無實ノ罪チ變リシ

叛旗ヲ揚ゲテ。飽クマデモ君命ニ抵抗セントノ意チ示シタルナリ。○申雪。無實ノ罪チ變リシ

○侍秀次。妾トナリ。○睚眦。目ニテ。ニラミ付ケ。恨ミ怒。○淺井氏。信長ノ妹。淺井長政

三女ノ一ナリ。織。○外姪。姉妹ノ子チ。○北廳。執政家ノ。○北廳親屬。俱ニ秀吉ノ

田記ニ詳カナリ。○外姪。姉妹ノ子チ。○北廳。執政家ノ。○北廳親屬。俱ニ秀吉ノ

淺野氏ノ親屬ニ非ズ。何故ヘニカクモ誤リ。○竝爲外征將。即チ兩先。○相惡。雙方ナカ

シヤ。已ニ豐臣記ニ詳カナリ。參考ス可シ。○竝爲外征將。即チ兩先。○相惡。雙方ナカ

○有姻戚。即チ上文ノ。嗣子ノ婦。○慶長。後陽成帝。○明及朝鮮使者。明使揚方享、沈惟

弘。○來辭。彼レヨリ申シ來リシコトヲ。即チ。○所望。明國ニ王タル。○行營。即チ肥前ノ

○松平康親松平家乘。野史二人ノ本傳。及ヒ諸書ニ據レバ。康親ハ天正十一年六月卒シ。年

二年ニ。大番頭ニ任ズル。答ナシ。且ツ成績逸史等。○内藤永井栗生。未ダ檢出セズ。内藤家

ニモ。是ノ任命チ載セズ。恐クハ本誓ノ誤ナラン。○不厭心。心中ニ不足ニ思。○又令井伊云云。是レ

子弟。○累子。其方共ニ。面倒チ。○不厭心。心中ニ不足ニ思。○又令井伊云云。是レ

ニ上文ノ轉封ノ處ニ記シタルト重複セリ。上文ニハ更ニ番京師トアリ。此處ハ更ニ番伏見トアリ。其實ハ京師伏見ニ更番セシモノニテ、成續ナドハ。上文ニ京師伏見ト合セ書キテ、併シ轉封ノ時ニハ、未ダ伏見城有ラザリシニユヘ。其後文祿年中ニ、伏見城ノ出來シ比ヨリ。京師伏見兩地ヲ兼持ナニセシナラン。サレド今年ニ至リ、始メテ伏見在番ヲ申付タルニ非ルハ、必セリ。

○頓 屯成ス。○藤社 山城伏見。○感吉夢 家忠日記、松榮記事並ニ云フ。米津清右衛門ノ照祖豐臣氏ノ之ヲ聞クヲ恐レ、秘シテ殺セズト。是レナリ。併シ諸至ノ義ナルヲ。俗書ニテハ石清水ニ詣セシ日ノ夜ニ、夢ヲ見シトアルハ、少シク異ナリ。○詣 參詣ト書キ、神ニ謁スル義トセシハ、誤ナリ。山陽翁ハ常ニ之レヲ誤用セリ。已ニ平記ニ辨シ置キタリ。○石清水 山城男山。○巨藩 大名。○大老 寄

役ノ義、年少者ノ上。○闕視 一ノツギキ。○列坐 一オホセイナ。○誰最可畏 一ハキヤトノ意。○魁偉 大兵ニシテ、マナタル義。○首坐 一番上席。○黧面翁 一オホ色ノクロキチ。○弓箭之事

イカサノコトガヲ。軍旅之事ト云フニ同シ。○作色 一オホ色ヲ。○踞 一カホ色ノクロキチ。○某在於此 一ガコ

ト云フ意。○不記小牧之事乎 一カ勝ナルニヤトノ意。是レ明哲身ヲ保ツ者ノ言ニ非ズ。大問ヲシテ、寛洪ノ置ナカラシムレバ、豈ニ危殆ナラズヤ。○駭栗 一其不遜ノ言ニ。オドロ。○適 一只今ノト。○戲言之

邪 一ハ本氣ヲ言ハレタノ意。○不肯讓一步 一決シテヒトアシモ。○譴怒 一セツイ。○談他

事 一ホカノコトヲ。○直言 一憚カラズ。マツス。○外師 一海外征伐。○丁壯 一年ウカキ

罷轉漕 一兵糧器械等ヲ。ハコヒイマ。○倦 一退屈スル。○度外 一常務ノ外。○媮取 一他

侯切、荷ト同シ意。未來ノ事ハ、兎モ角モアソ。○建方廣寺 一正十四年建築ス。○材 一材木。○累

鉅萬金 一鉅ハ大ナリ。即チ數百萬金ヲ重ヌル義。○遇震而崩 一慶長元年閏正月、大地震ガアリタリ。○紀綱 一シメテ

中軍將士 一將校トモ。○牧伯 一大名。○離視 一カマキノ如クニ。ニラミアフ。諸侯ト麾下

ニテ、徳川將府ノ世トナリテ、殊ニ甚シカリシナリ。サレバ是レ。○麾下 一ハタモ。○協和 一

チアハセ。和陸スル義。○冲子 一幼少ノ嗣子。秀。○内外 一内ハ麾下ノ將。○敢不奉命 一敢テ御沙汰

マシキヤ。其レハ屹度奉承スル。○私憾 一人々ウタカシ。○各有所由 一ソレソレノ事ナリト

意。○如初 一最初對ヘシ通りニ對ヘル。即。○厲聲 一トトマテ。○猶挾私怨乎 一胸中

怨ヲ持チ居リテハ、心ヲ協ハスコトハ出來ヌ答ナリ。○懷貳 一主人ニ對シ。フヌユ。○安在 一

故ニソレデモ猶チ私怨ヲ挾ムカト。詰問セシナリ。○懷貳 一主人ニ對シ。フヌユ。○安在 一

其奉上也 一ナソデ上ニ奉ズルト云。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ

フ者デアラフヤトナリ。○頓首 一カシフチ地ニツ。○爭坐位 一己レガ上席セ



アラソヒ ○雜席 順テ立テス。コダシナリ。 ○酒行 杯が一通。 ○離次忍諍 席チ起ナハナレ。 ○傳旨周旋 上意ヲ傳ヘテ。タチマハ。 ○按劍 手ニカケル。 ○賈 其説論ニ從フト言ル。 ○傳旨周旋 上意ヲ傳ヘテ。タチマハ。 ○按劍 手ニカケル。 ○賈 其説論ニ從フト言ル。 ○傳旨周旋 上意ヲ傳ヘテ。タチマハ。 ○按劍 手ニカケル。 ○賈 其説論ニ從フト言ル。

諸門 一モ。外出ノ出來ヌ様ニセラレヨトノ意。 ○警服 氣ヲ失フテ。オ。 ○慰籍 テ。トリモ。 ○獻酬 シテ酒チノム。 ○爲謹 スルチ云フ。 ○嗜昔 昔ハ夕ト通ズ。昨。 ○威信 威武信。 ○內難 不和ヲ指ス。 ○外征 朝鮮征伐。 ○班帥 外征ノ師チ。 ○兵連弗解 軍兵ガムスボレ。 ○乘喪 秀吉ノ死亡セシニ。 ○委託 タノム。 ○不得不煩 卿ヘニ。 ○異謀 德川前田等ノ先聲ヲ除キ。己レ等ガ天。 ○五六老 家康、及ビ。 ○三老 中村一氏、生駒。 ○五奉行 淺野長政、增田長盛、石田。 ○大野氏 治長ノ。 ○有甲 甲冑チキタル。 ○相告自備 互ニ相告ケ知ラセテ。自分ノ屋敷。

ナ警護セシチ云フ。 ○爲父忠重所逐 水野家譜ニ云フ。勝成薩ニ遇ヒ。罪チ。 ○歷游 アソブ。 ○聞警 此度伏見ニ大變ガ起リシ。 ○自效 自カラ働ラキテ。實効。 ○列老奉行 即十五大。 ○強任 ニマユルチ云フ。 ○軍國事 軍務政事。 ○胎魚 奉行ト大老ノ間ニ。魚ノ。 ○疎 交際ノウト。 ○大故 大間ノ興ヲ謂フ。故ハ物。 ○外我 我レチ度外ニシテ。知ラ。 ○治行 出立ノ用意。 ○訛言 イヒフ。 ○扼 メル義。 ○海内搖矣 日本國內ガ。動搖シ。 ○興疾 セテ行クチ云フ。 ○習外事 前役ニ已ニ渡海シテ。外國。 ○大克 島津義弘。 ○勝チチ指ス。是句ノ下ニ高虎ノ途中ヨリ還リシ。 ○文ノ結束ガツカヌヤウナリ。

206  
8  
45

新編日本外史講義  
卷之二十

